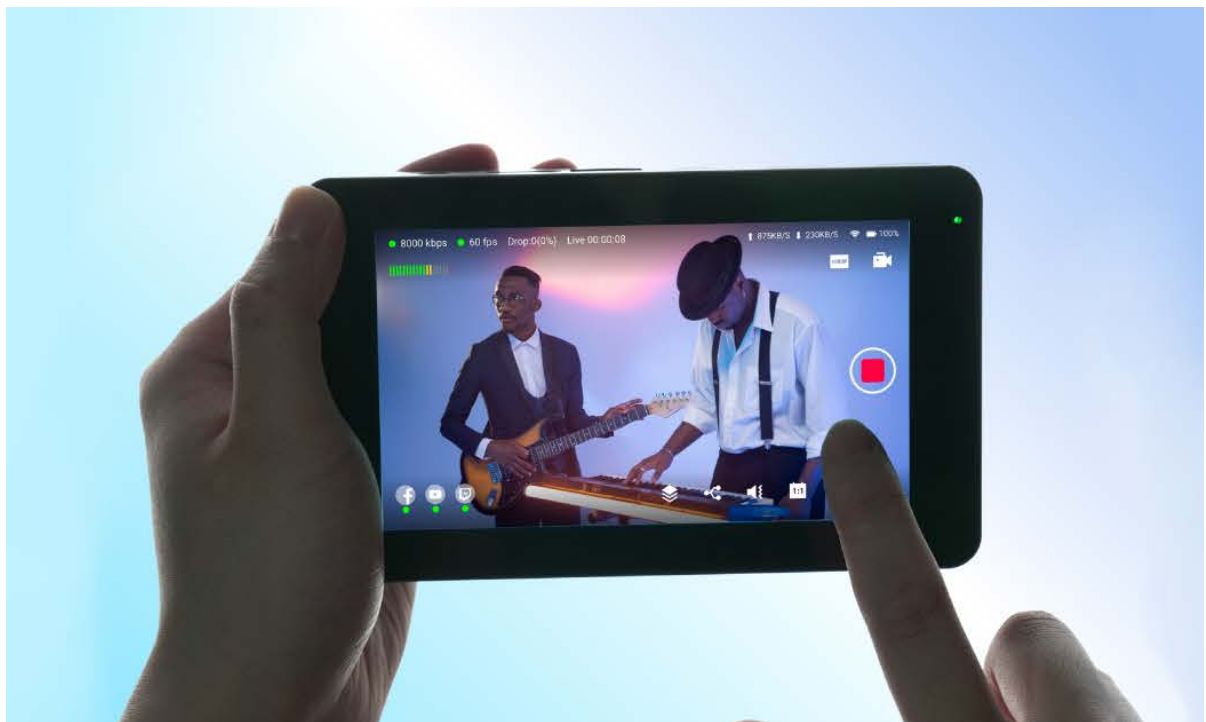


YOL^{LO}LIV

YoloBox Mini

ユーザーマニュアル

2022年8月発行



目次

はじめに

P.4 本マニュアルについて

P.5 各種名称

まずはこちらの設定から

セットアップ

P.6 日本語入力の設定

P.9 アカウント設定

P.10 ネットワーク設定 (Wi-Fi・SIM カード)

P.14 配信プラットフォームの登録

P.14 YouTube

P.15 Facebook

P.15 Twitch

P.15 RTMP

P.19 画面の明るさ設定、上下反転

配信をはじめよう！

配信設定

配信までの
3STEP

① P.20 ネットワークに接続

② P.20 ライブ配信プロジェクトの作成

③ P.22 配信プラットフォーム選択、配信開始

P.24 便利な機能

① ライブ配信プロジェクトの複製 / 削除

② ライブ配信プロジェクトの全選択 / 解除

③ 収録と解像度変更

様々な機能で高度な配信を

映像ソースの追加・ マルチビューの設定

P.25 映像入力、SD カードの追加方法

P.26 クロマキーの設定方法

P.27 Live Stream (複数台接続) の設定方法

P.28 PDF の追加方法

P.29 マルチビューの設定

P.29 PinP

P.31 Split View

P.32 Side by Side

P.33 News Layout

P.34 Triple

様々な設定を使いこなそう

各種アイコンと 機能の説明

- P.35 オーバーレイ
 - P.35 Image Overlays (ロゴの挿入)
 - P.37 Lower Thirds (テロップの挿入)
 - P.39 Countdown Timer (カウントダウンタイマー機能)
 - P.41 Web URL Overlays
 - P.41 Titles (タイトルの挿入)
 - P.42 Social Overlays (ソーシャルメディアロゴの挿入)
- P.44 配信プラットフォーム選択
- P.44 ゲストの招待
- P.47 音声設定
- P.48 スコアボード
- P.49 コメント
- P.50 オートスイッチング (自動切換え)
- P.51 各種設定ページ
 - P.52 映像ソーススイッチングモード
 - P.52 SD カード映像スイッチング設定
 - P.52 SD カード管理
 - P.52 プログラムアウト選択
 - P.53 USB-C アウト
 - P.53 映像ソースランジション
 - P.53 ストリーミングモード
 - P.54 エンコーディング設定
 - P.55 収録設定
- P.56 スペック

はじめに

本マニュアルについて

YoloBox Miniをお使いになる前に、本ユーザーガイドの注意事項をご確認ください。

マニュアルを参考にしてご使用いただければ、YoloBox Miniを継続してご利用いただけますが、次の場合には適用されません。

※許可されていないメンテナンスやパーツの交換

※落雷、火災、湿気などの事故による損害

※許可された電源電圧の範囲外の使用

※製品ラベルの修整や承認されていない保証書の取り外しは禁止されています

注意

警告 感電

修理・交換の際は、必ずメーカーにご返却ください。

注意事項

- ・製品に液体が飛散したり、液体の入った容器を製品の上に置いたりしないようにしてください。
- ・感電の恐れがあるため、通気口を塞がないでください。製品のカバーを外したり、通気口に何かを差し込んだりしないでください。

- ・製品は平らな面に置いてください

- ・製品の通気性を確保し、直射日光や熱源から遠ざけてください。

- ・製品を湿気や火気にさらさないでください。

- ・標準外の電源アダプターを使用して発生した事故について、メーカーは責任を負いません。

- ・バッテリー注意事項：

- 1.分解したり、叩いたり、押しつぶしたり、火に投げ込んだりすることは禁じられています。

- 2.膨張や変形している場合は、使用を継続しないでください。

- 3.高温または急な気圧変化のある環境に置かないでください。

- 4.許可なくバッテリーを交換しないでください。

- ・ FCC規制への準拠：

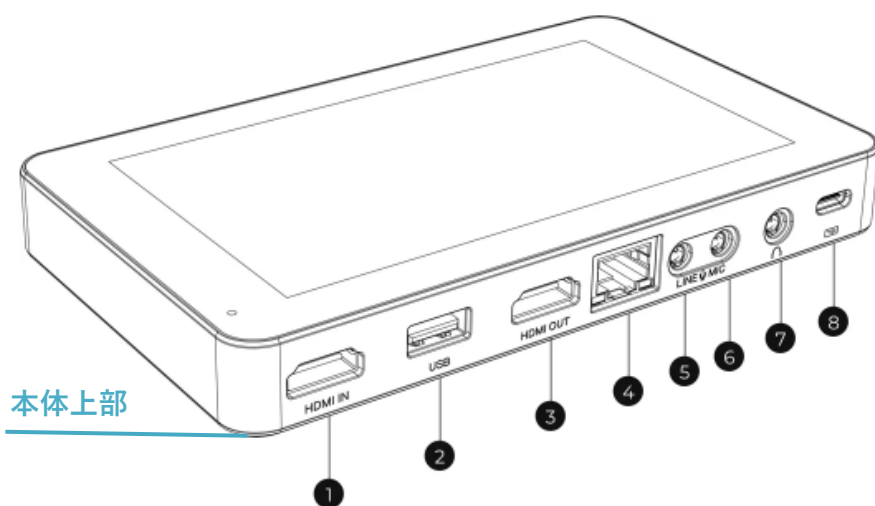
このデバイスは、FCC規則15項に準拠しています。動作には以下の2つの条件があります。

- (1) 本機は、有害な干渉を引き起こすことはありません。

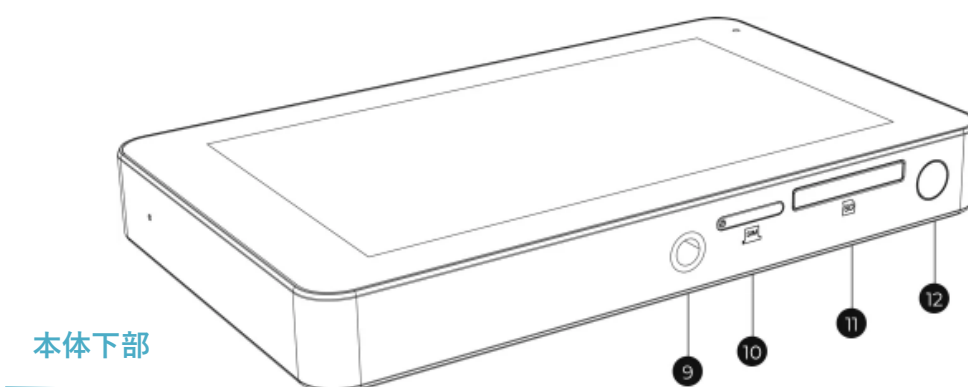
- (2) 本機は、意図しない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信した干渉を受け入れる必要があります。

- ・「環境保護」の記号電気製品は、家庭ごみとして廃棄できません。設備のあるところではリサイクルを行ってください。詳しくはお住まいの地域の自治体やリサイクル業者にお問い合わせください。

各種名称



- ①HDMI入力 ②USB-A入力 ③HDMI出力 ④イーサネット ⑤ライン入力（3.5mm）
⑥マイク入力（3.5mm） ⑦オーディオ出力（3.5mm） ⑧ USB-C（充電用）

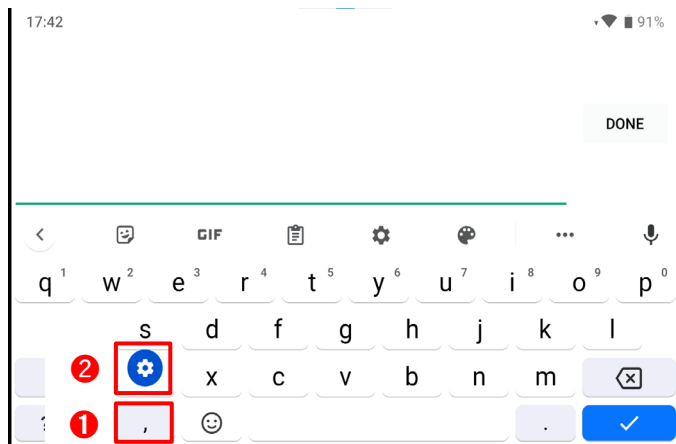


- ⑨ 1/4インチネジ穴 ⑩ nanoSIMカードスロット ⑪ SDカードスロット ⑫ 電源ボタン

セットアップ

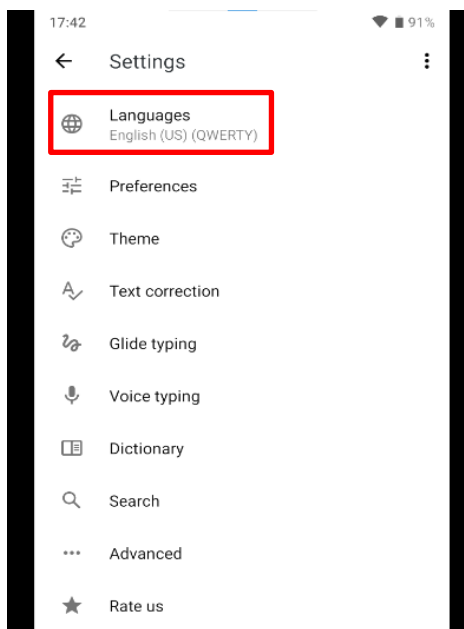
日本語入力の設定

初期の状態では日本語入力ができない仕様となっているため、日本語入力の設定を行ってください。

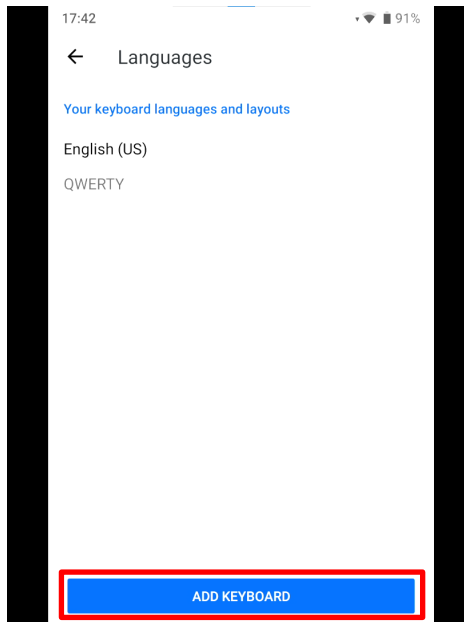


① 絵文字マークの隣の「,」マークを長押しします。

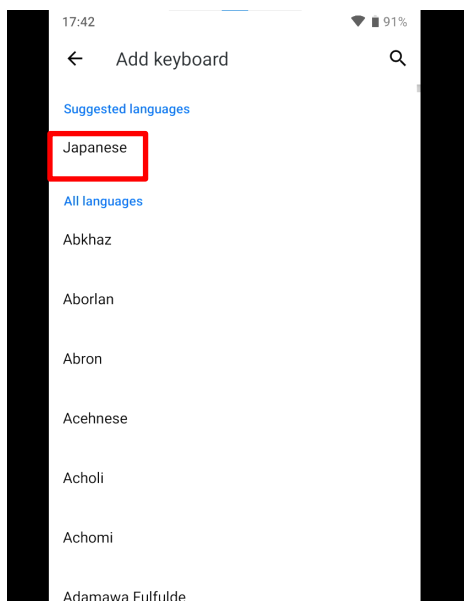
② 歯車のアイコンが出てくるので、歯車アイコンをタップします。



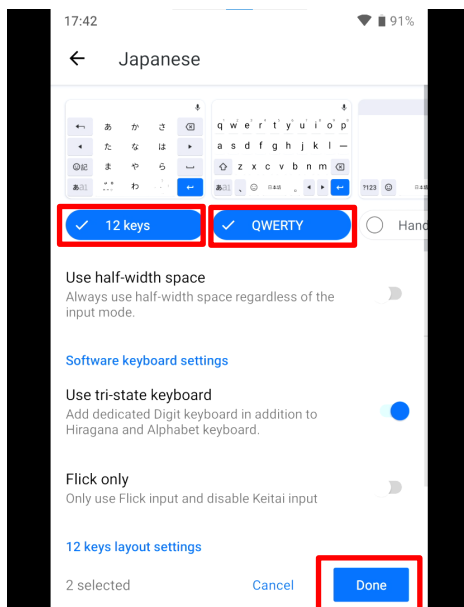
設定画面から「Languages」を選択します。



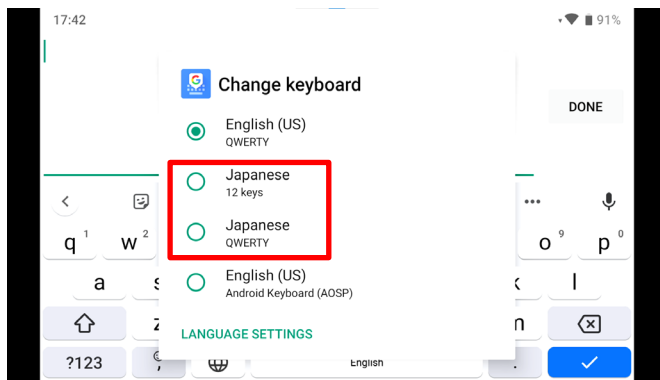
画面下の「ADD KEYBOARD」をタップします。



「Japanese」を選択します。



キーボードの入力タイプを選び、
右下の「Done」をタップします。



入力画面に戻り地球マークを長押しすると、日本語入力を選択できるようになっています。

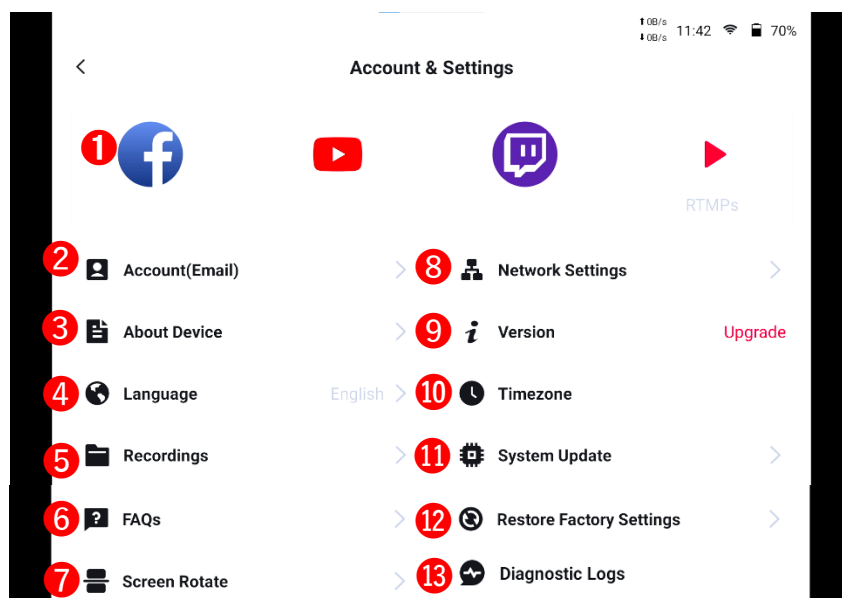
アカウント設定

YoloBox Miniを使う際は、始めにアカウントの登録を行います。

新規メールアドレスを入力すると、認証コードが記載されたメールが届きます。

認証コードをYoloBox Miniに入力し、パスワードを設定しログインを行います。

※ログインにはYoloBox Miniをネットワークに接続する必要があります。



- ①配信プラットフォーム ②アカウント情報（パスワード変更） ③デバイス情報
- ④言語設定 ⑤SDカード管理 ⑥FAQ ⑦画面反転 ⑧ネットワーク設定
- ⑨手動バージョンアップデート ⑩時刻設定 ⑪システムアップデート
- ⑫初期化 ⑬ログ診断（エラーがあった場合などにログをサーバーにあげて報告する機能です）
- ⑭ログアウト（ログインした状態で表示されます）

ネットワーク設定 (Wi-Fi・SIMカード)

Wi-Fi

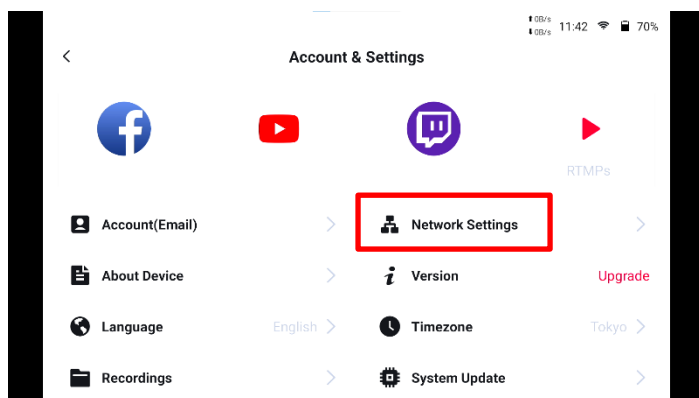
アカウント設定画面のネットワーク設定を選択。Wi-Fi設定をタップし、Wi-Fiの設定を行います。Wi-Fiの一覧が表示されるので、繋ぐWi-Fiを選択しパスワードを入力し接続を行います。

SIMカード

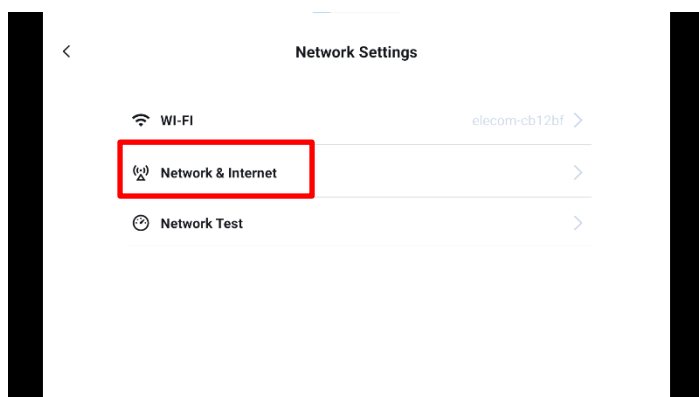
SIMカードを使ってネットワークに接続する際は、アクセスポイントの追加が必要です。SIMを挿しただけでもネットワークには繋がりますが、4G回線に繋がると回線が安定します。

※SIMを挿入してもネットワークに繋がらない場合は、SIMが本体中でずれてしまっている可能性があります。SIMカードスロットを確認し、カードがズレていればさしなおして下さい。

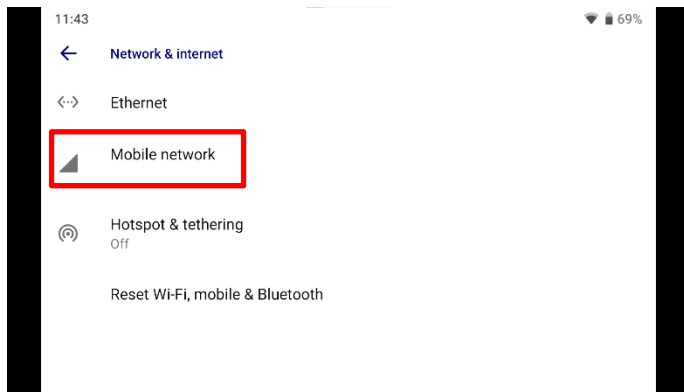
※SIMカードが中に落ちないように、カードスロットを取り外す際は本体の画面を下に向けてカードスロットを取り外してください。



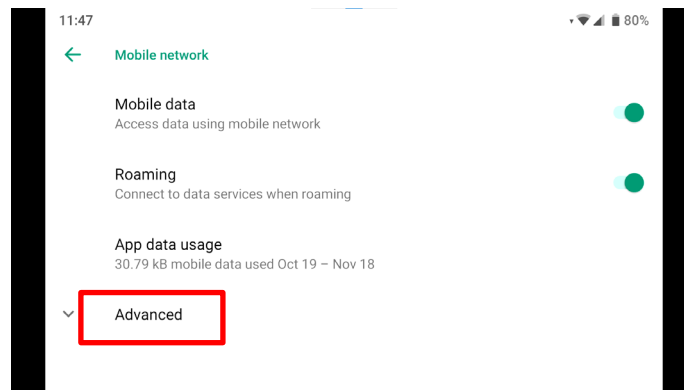
アカウント設定ページから「Network Settings」を選択します。



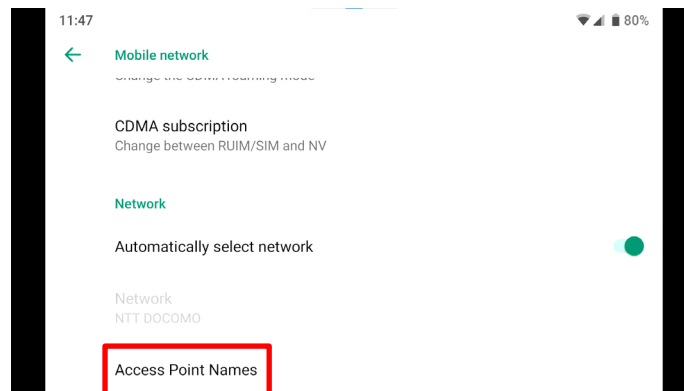
「Network&Internet」を選択します。



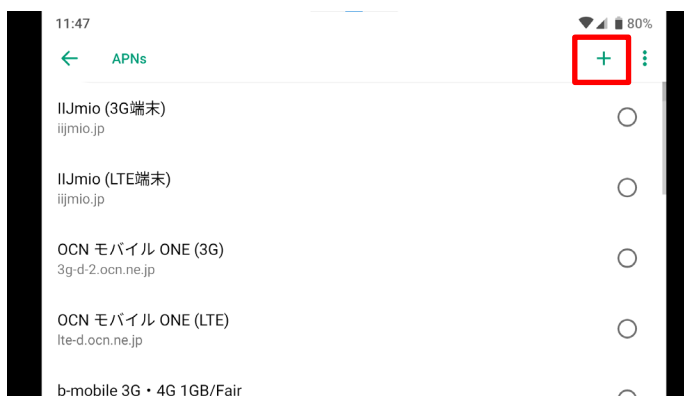
「Mobile network」を選択します。



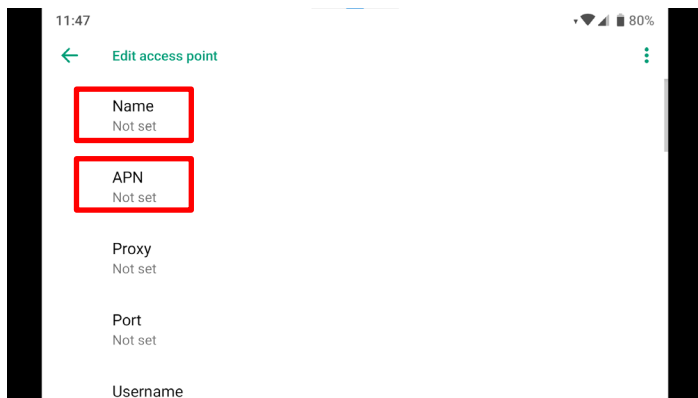
ページ一番下の「Advanced」を選択します。



さらにページ一番下の「Access Point Names」を選択します。

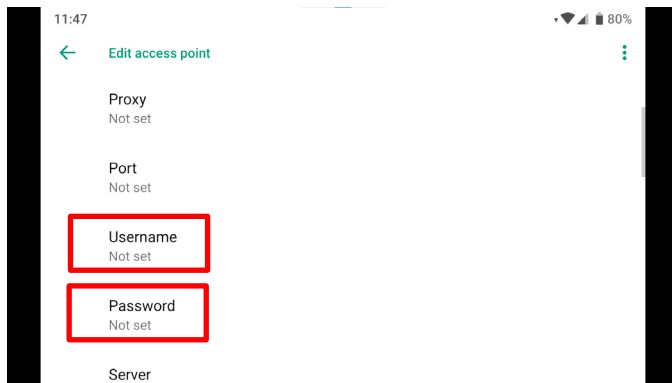


APNsリストが表示されるので、右上の「+」をタップします。



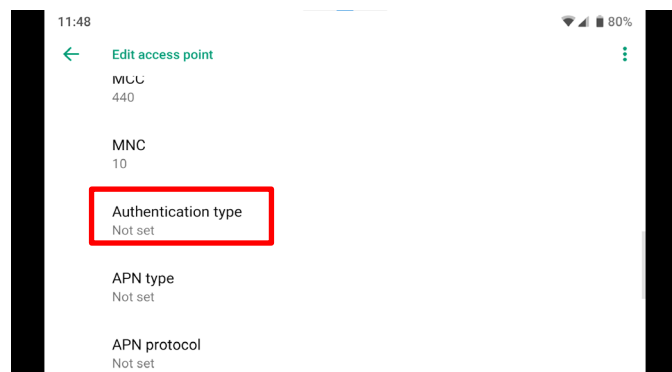
「Name」はAPNs一覧に表示される名前です。任意で設定します。

「APN」には接続先 APNを入力します。

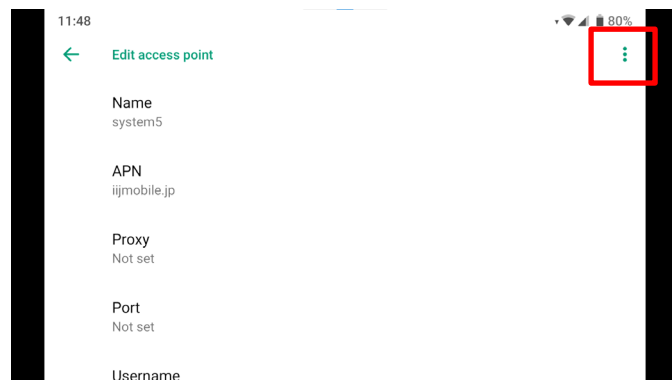


「Username」にはPPPログイン名、

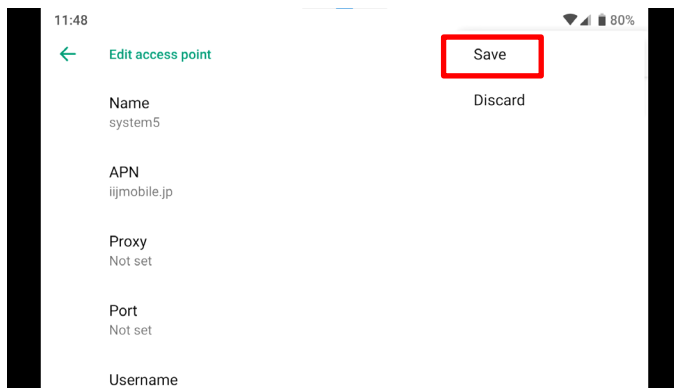
「Password」には設定されたPPPパスワードを入力します。



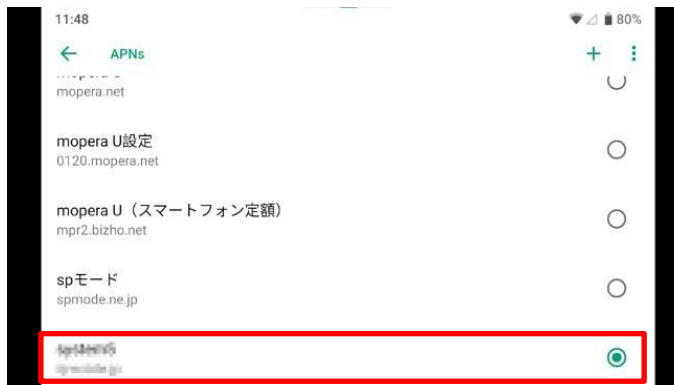
「Authentication type」から認定方式を選択します。



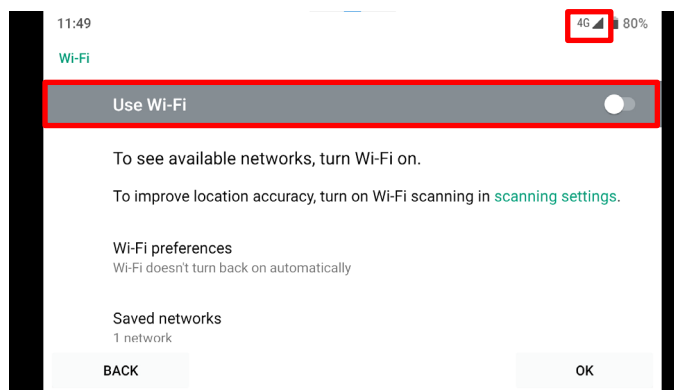
各項目の入力が終了したら、画面右上の設定メニューをタップします。



「Save」を選択し保存します。



APNsの一覧の最下に先ほど設定したアクセスポイントが追加されるので選択します。

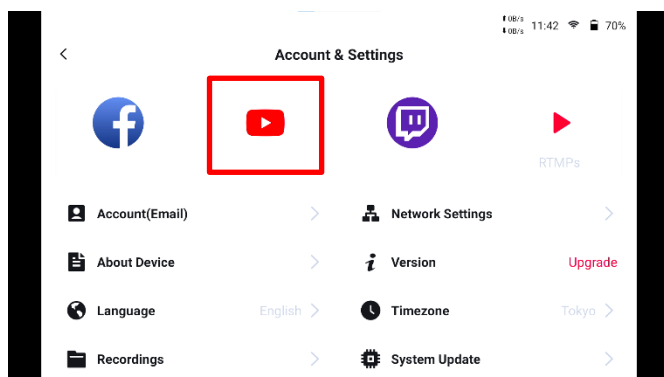


確認のためWi-Fiを一度切ります。
電波信号のアイコンの隣に「4G」が表示されていたら正常に設定されています。

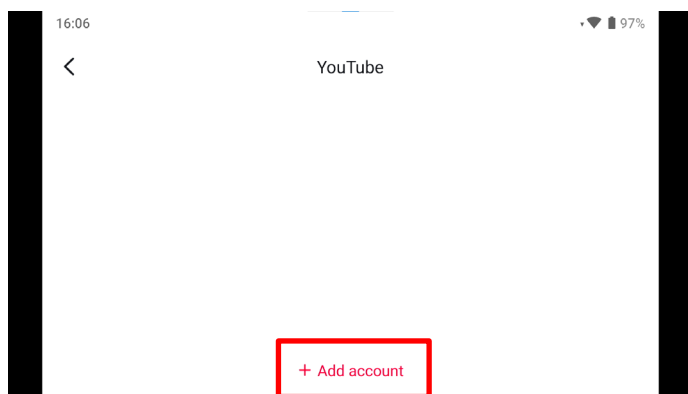
配信プラットフォームの登録

配信を行う前に、YoloBox Miniに使用する配信プラットフォームのリンクを行います。

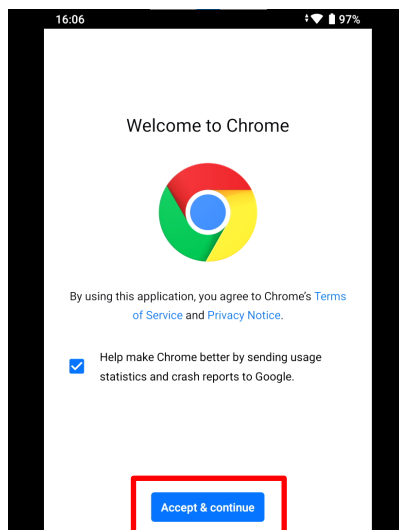
YouTube



アカウント設定ページからリンクさせる配信プラットフォームを選択します。
(※今回はYouTubeで設定を行います)

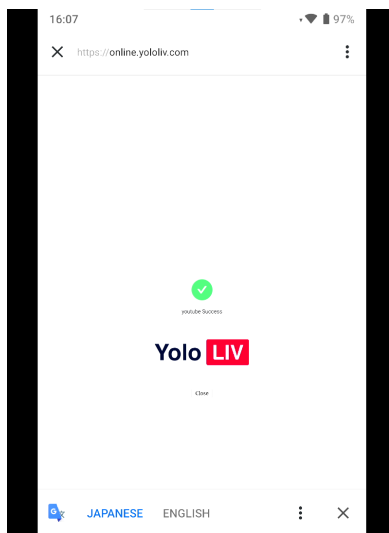


画面下の
「+ Add account」をタップします。



Google Chromeのページ下「Accept & continue」をタップします。

お使いのGoogleアカウントでサインインを行います。



画面上にYoloBox Miniとのリンクができたことが表示されます。

YouTubeとのリンクが完了すると、アカウント設定ページのYouTubeのアイコンの下に、YouTubeアカウントの名前が表示されます。

Facebook

FacebookもYouTubeと同じ手順でリンクを行います。

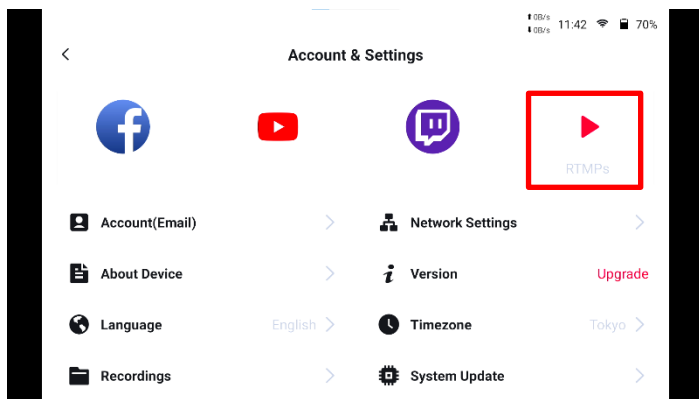
Twitch

TwitchもYouTubeと同じ手順でリンクを行います。

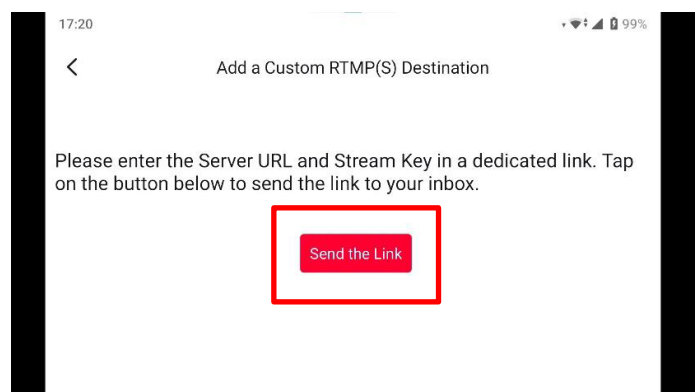
RTMPs

RTMPはインターネット上で、音声・動画・データを転送するためのストリーミングプロトコルです。

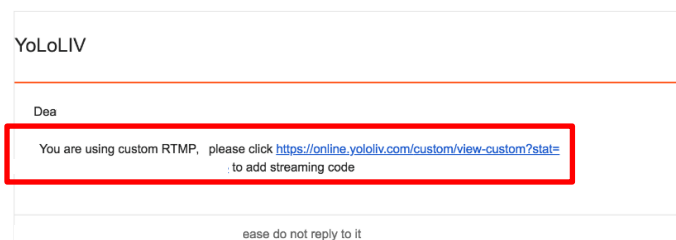
YoloBox Miniがサポートしている配信プラットフォーム以外のプラットフォームで配信を行いたい場合にはRTMPをご利用ください。



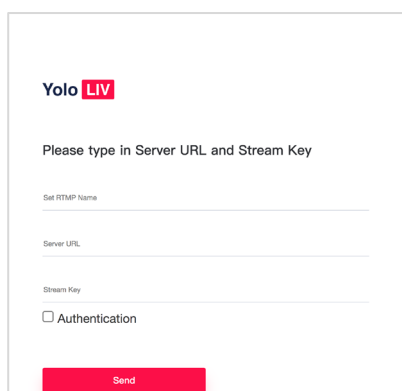
アカウントページからRTMP(s)のアイコンを選択します。



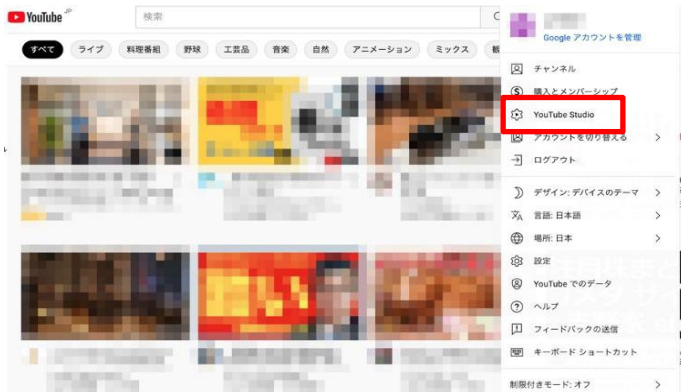
「Send the Link」を選択すると、ログイン時YoloBox Proに登録したメールアドレス宛に、サーバーURLやストリームキーを入力するメールが届きます。



パソコンや他のデバイスでメールを確認します。メール本文にURLが記載されているのでクリックします。



URLをクリックするとサーバーURLやストリームキーを入力するページにとびます。



次に、パソコンや他のデバイスで使用するYouTubeアカウントにログインを行います。アカウントから「YouTube Studio」を選択します。



YouTube Studioのページ右上の「作成」ボタンから「ライブ配信を開始」を選択します。

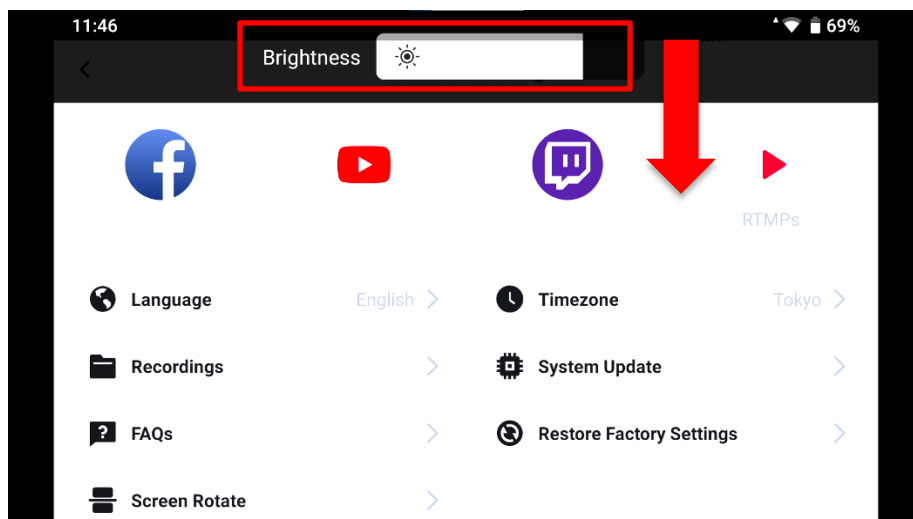


配信用の画面に切り替わったら、ストリームURL、ストリームキーをそれぞれコピーします。

画面の明るさ設定、上下反転

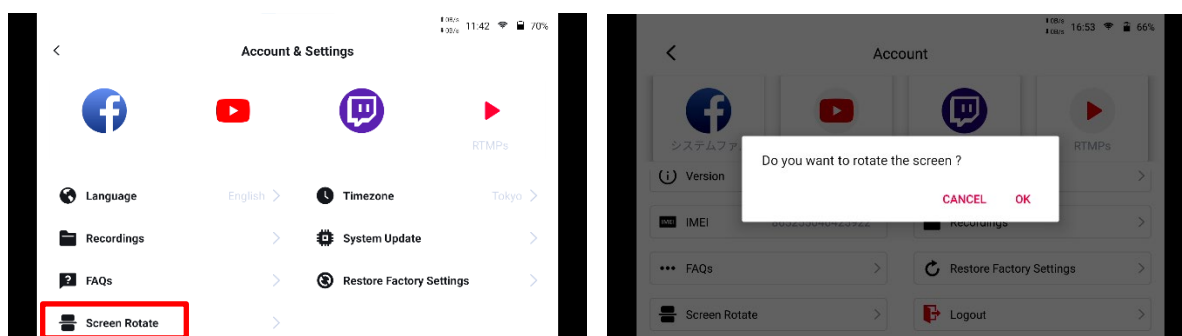
明るさ設定

画面上部を下にスライドすると調整バーが表示されます。



上下反転

アカウント設定ページの「Screen Rotate」を選択します。画面に表示されるメッセージにOKをタップすると画面が反転します。戻す時も同じ手順です。



配信設定

配信までの3ステップ

セットアップが完了すれば、すぐに配信を開始できる状態になります。

配信は3ステップで簡単に行うことができます。

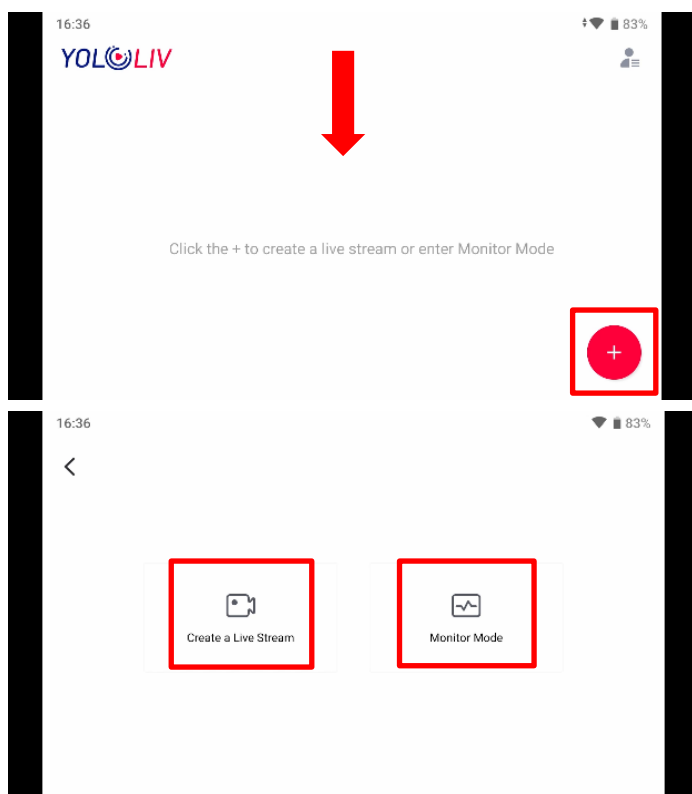
STEP1 ネットワークに接続

ネットワーク設定で設定したネットワークに接続されているか確認します。現在YoloBox M iniで使用できるのは、Wi-Fi、SIMカード、有線LAN、テザリングです。

ボンディングには今後対応予定となっています。

STEP2 ライブ配信プロジェクトの作成

ネットワークに接続しているのを確認したら、次にライブ配信プロジェクトの作成を行います。



トップ画面右下の「+」マークをタップして、配信プロジェクトを追加します。

※既に作成済のプロジェクトがある場合は、画面上から下へ指をスライドさせ、読み込みを行うと表示されます。

「Create a Live Stream」もしくは「Monitor Mode」を選択します。

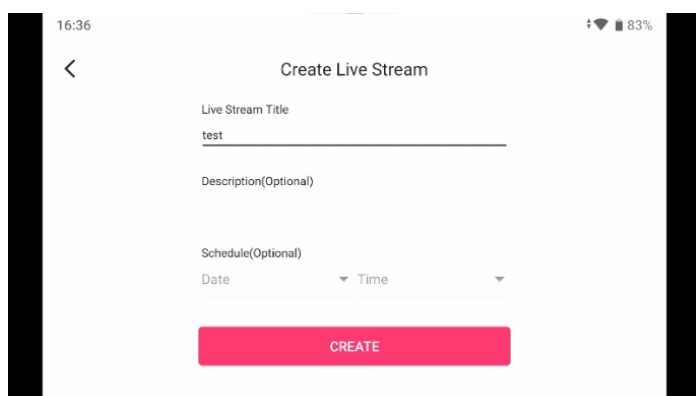
Create a Live Stream

ライブ配信用のプロジェクトです。

Monitor Mode

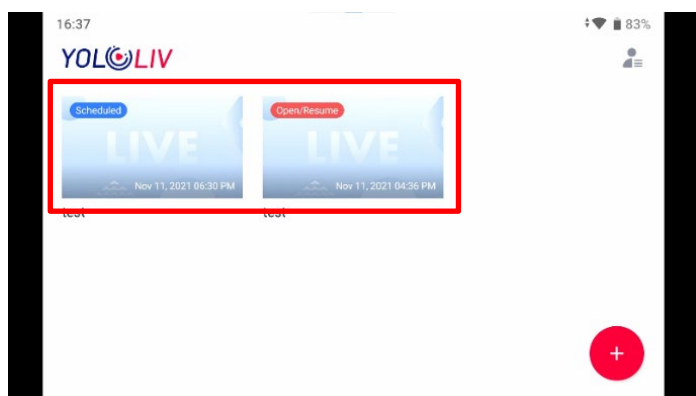
オフライン時に使用できるモードです。配信以外の機能を使うことができます。

モニターモードを使用する場合は、収録のビットレートを50000Kbpsまで設定することができます。（配信モードの場合は8000Kbpsまで）



「Create a Live Stream」を選択すると、プロジェクトの名前、説明、スケジュールを設定することができます。

※名前以外は任意での入力となります。
スケジュールを設定した場合は、設定した日時になるまで配信を行うことができません。



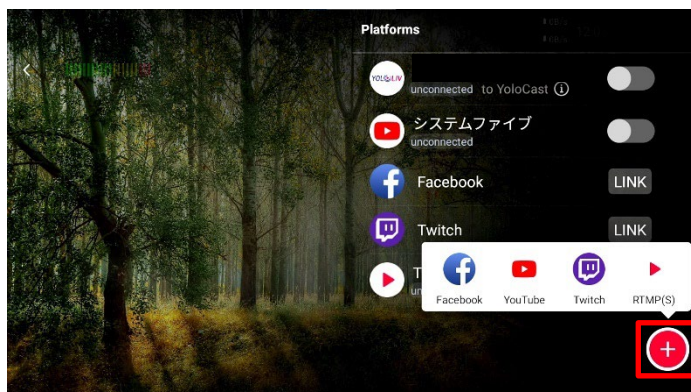
プロジェクトの設定が完了すると、トップ画面に作成した配信プロジェクトが表示されます。

画像左側がスケジュール設定した配信プロジェクト、右側がスケジュール未設定の配信プロジェクトです。

STEP3 配信プラットフォームを選択して配信開始

配信プロジェクトを作成したら、タップして操作画面に入ります。

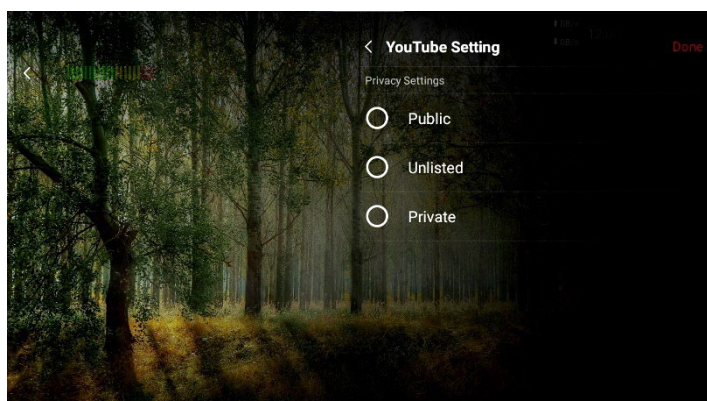
HDMIなどの外部入力からの映像は自動でプレビュー画面に表示されます。



画面右下部のプラットフォームのアイコンを選択すると、セットアップでリンクさせた各配信プラットフォームが表示されます。

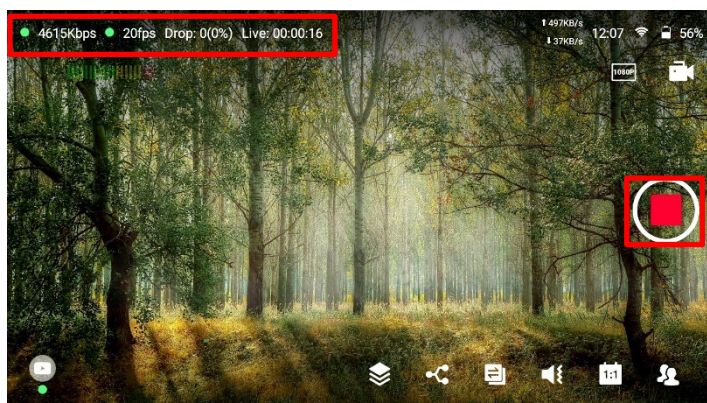


新規の配信プラットフォームを追加したい場合は、右下の「+」をタップして追加します。削除する場合は消したいプラットフォームを右から左にスライドし、デリートを選択します。



配信プラットフォームによっては、選択するとプライバシー設定を行うものがあります。

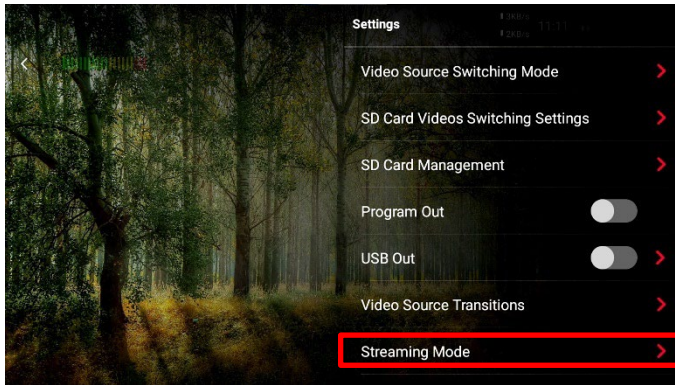
配信をプライベートで行うか、パブリックで行うかを選択します。



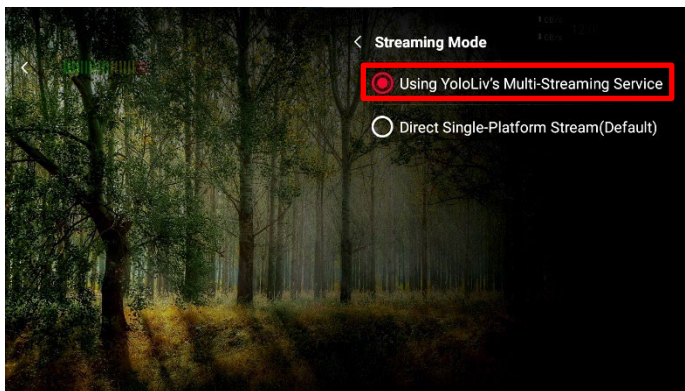
配信するプラットフォームを選択し、画面右側の「GO LIVE」をタップすると配信が開始されます。

配信時間やビットレートなどの情報は画面左上に表示されます。

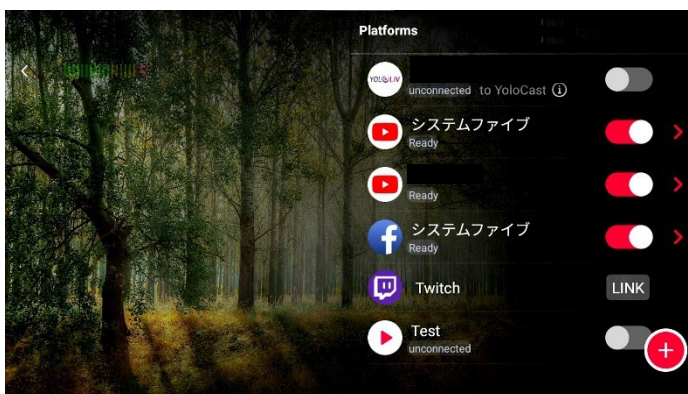
配信の終了、一時停止も画面右側の「GO LIVE (■)」ボタンをタップします。



YoloBox Miniでは最大3つのプラットフォームに同時配信を行うことができます。1つ以上のプラットフォームもしくはRTMPを使用した配信を行う場合は、各種設定ページ「Streaming Mode」から、



「Using YoloLiv's Multi-Streaming Service」を選択します。



画像のように3つの配信プラットフォームまで同時配信を行うことができます。別のYouTubeアカウントを紐付ければ、2つのアカウントに同時に配信を行うこともできます。（YouTube以外の配信プラットフォームも同様に複数アカウントで配信可能で

す）

こちらの手順で配信を開始することができます。

細かい設定などは別のページでご説明しておりますので、ぜひご確認ください。

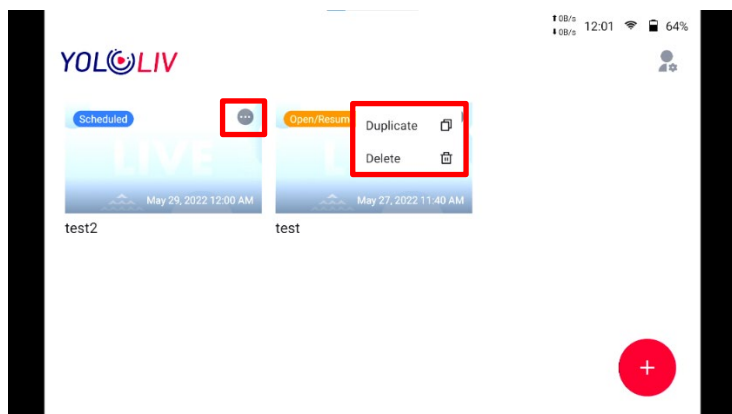
ビットレート、フレームレートなど配信詳細設定について P54

映像の入力、マルチビュー、ロゴやテロップなどの機能について P25へ

配信プラットフォームの紐付けについて P14へ

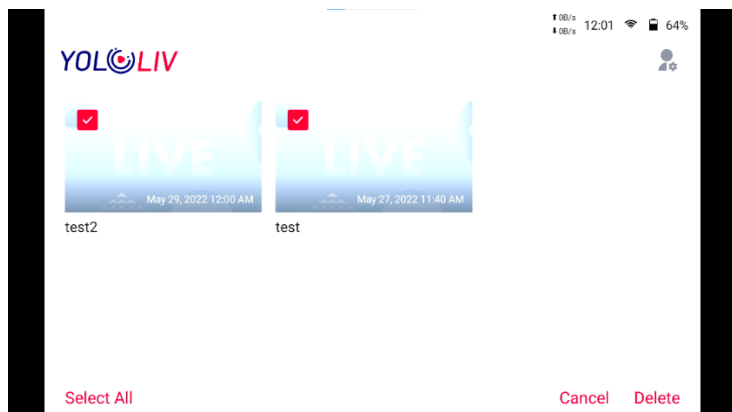
便利な機能

① ライブ配信プロジェクトの複製/削除



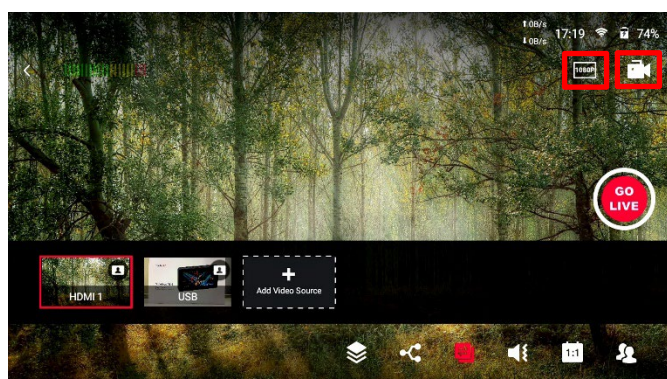
配信プロジェクトの右上「…」をタップすると、複製/削除を選択することができます。

② ライブ配信プロジェクトの全選択/解除



配信プロジェクトを長押しすると、プロジェクトの全選択や任意のプロジェクトの選択ができ、一括削除などを行うことができます。

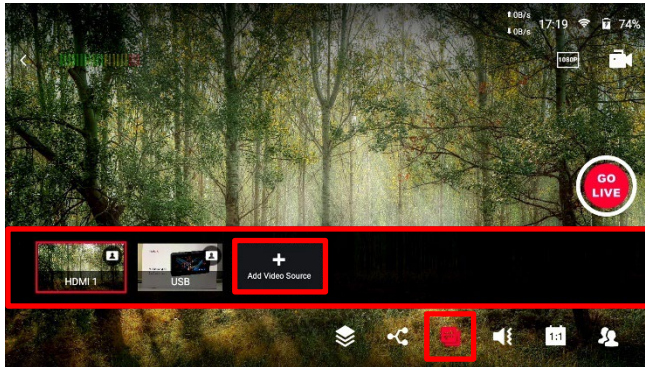
③ 収録と解像度変更



トップ画面右上の解像度のアイコンをタップすると「1080p/720p/480p」で解像度を変更することができます。その隣のビデオアイコンをタップするとSDカードへの収録を行います。

映像ソースの追加・マルチビューの設定

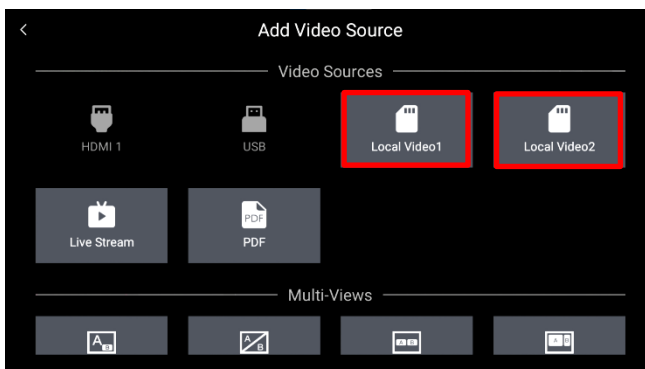
映像入力、SDカードの追加方法



画面右下のスイッチングアイコンを選択するとプレビュー画面が表示されます。

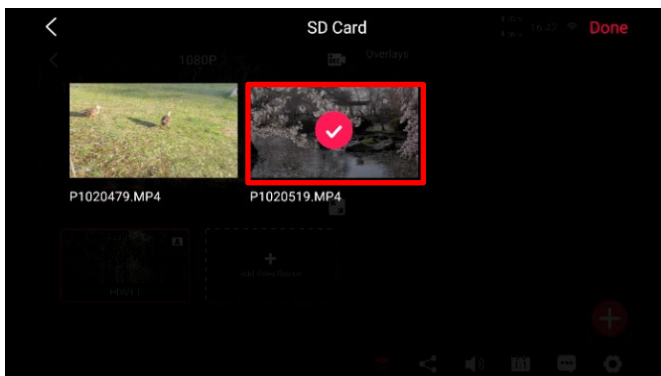
HDMI、USB-Aに入力した映像ソースはプレビュー画面に割り当てられます。

SDカードのデータを取り込む場合は、「Add Video Source」を選択します。



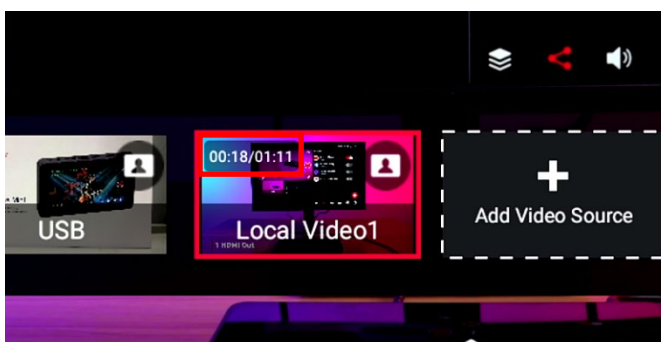
SDカードからの動画の取り込みは、入力ソースから「SD Card Video」を選択します。

※SDカードからは最大2つまで動画を取り込むことができます。



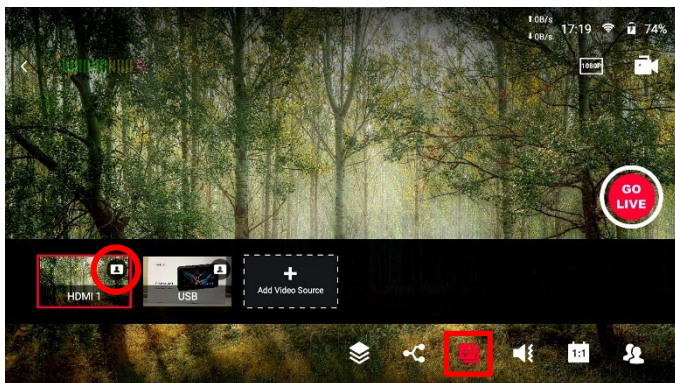
SDカード内のデータから取り込みたい動画ファイルを選択します。

現在対応している動画ファイルフォーマットはMP4のみとなります。

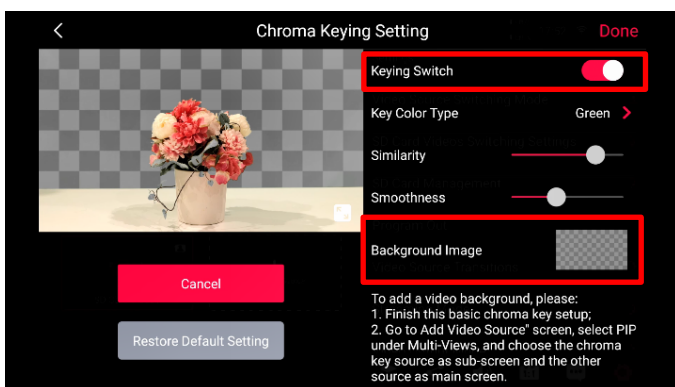


SDカードの映像を再生すると、プレビュー画面左上に動画ファイルの長さや再生時間が表示されます。

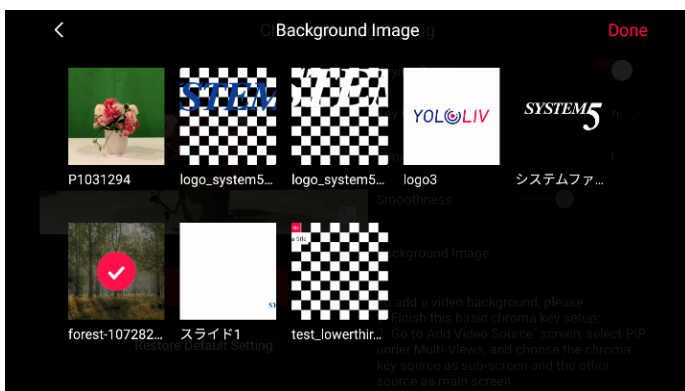
クロマキーの設定方法



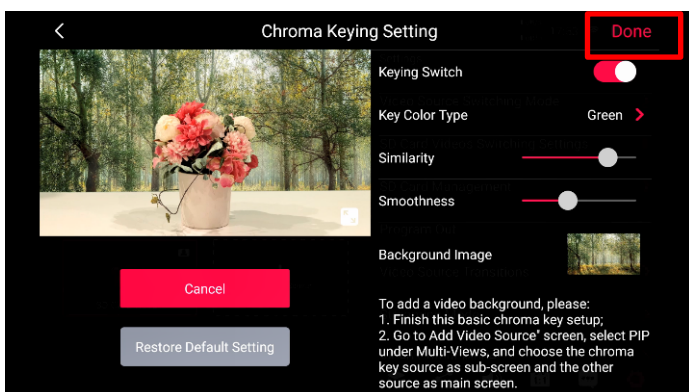
スイッチング画面のプレビュー右上のアイコンをタップして、クロマキーの設定ページにはいります。



「Keying Switch」をオンにしてクロマキーの詳細設定を行います。背景タイプはグリーンとブルーに対応しています。「Similarity」と「Smoothness」で微調整を行います。背景画像は「Background Image」をタップして、



SDカード内の静止画データを選択します。

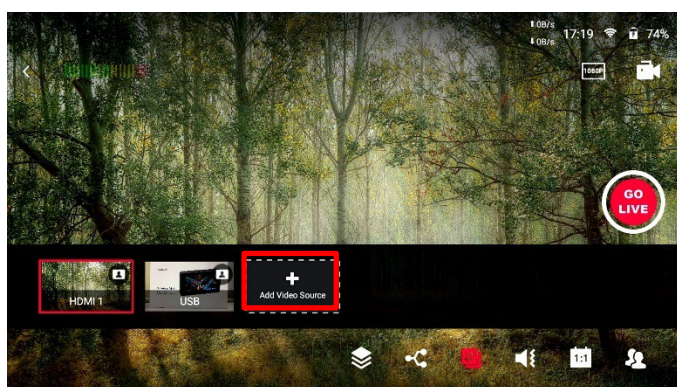


設定が完了したら画面右上の「Done」をタップすると、プレビュー画面にクロマキーの映像が追加されます。

Live Stream（複数台接続）の設定方法

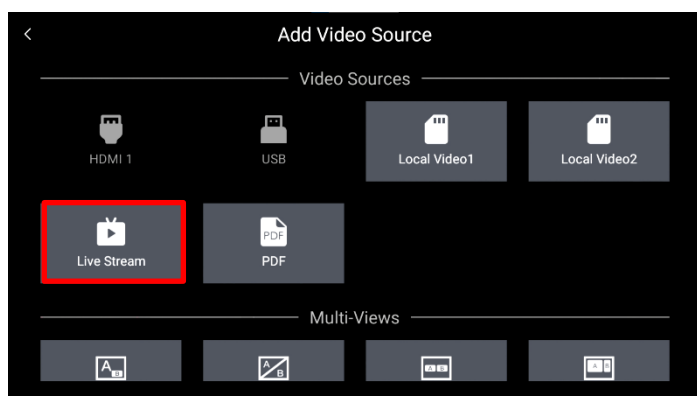
Live Streamは、複数台のYoloBox Miniを**同じYoloLivアカウント**でログインすることで、配信を行っているYoloBox Miniの映像と音声を他のYoloBox Miniが受け取り、さらに映像ソースのひとつとして配信を行うことができる機能です。

この機能によって、例えば大阪のスタジオのYoloBox Miniで行われているライブ配信を、東京のスタジオのYoloBox Miniが受け取り、さらに東京のライブ配信にのせて中継のような使い方ができます。

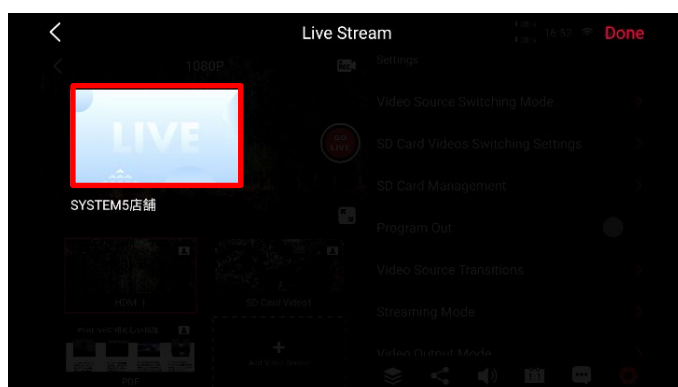


同じYoloLivアカウントでログインしたYoloBox Miniを用意し配信を開始しておきます。

配信を受け取るYoloBox Miniのプレビュー画面の「Add Video Source」を選択します。

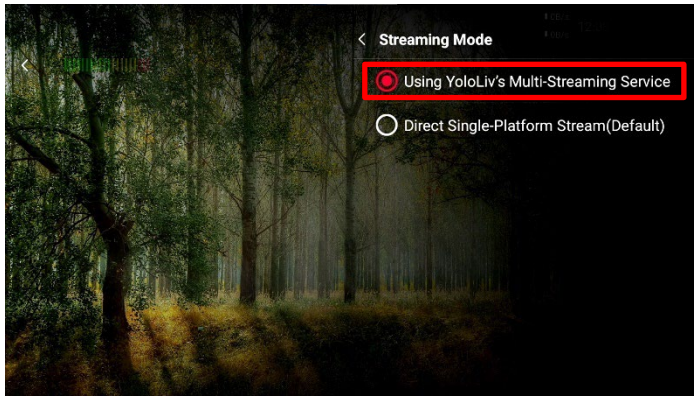


「Live Stream」を選択します。



ライブ配信を行っている他のYoloBox Miniのプロジェクトが表示されるので、1つを選択します。

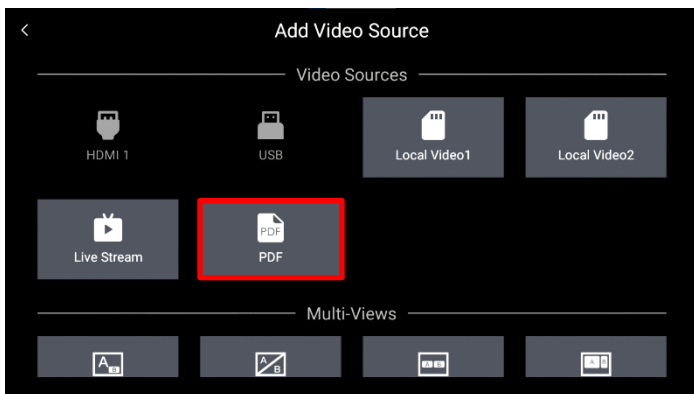
※複数のYoloBox Miniが配信を行っている場合は複数のプロジェクトが表示されます。



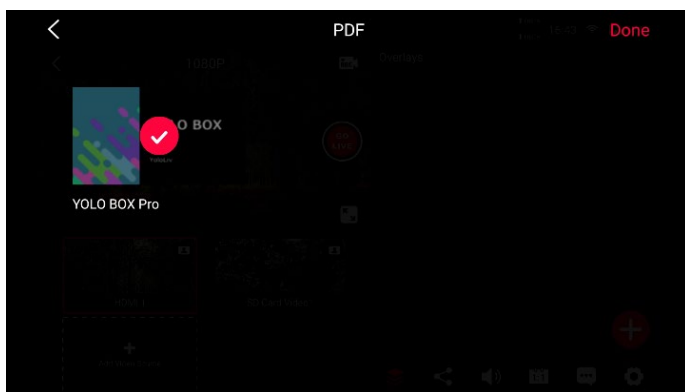
選択した配信プロジェクトは映像ソースのひとつとして、プレビュー画面に表示されます。

※Live Stream機能を使用する際は、各種設定ページの「Streaming Mode」から「Using YoloLiv's Multi-Streaming Service」を選択する必要があります。

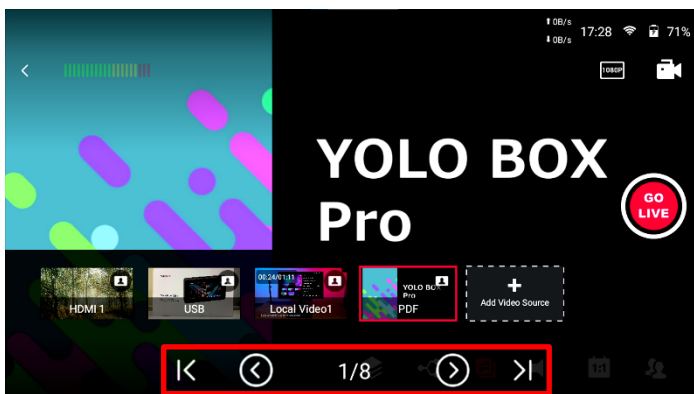
PDFの追加方法



「Add Video Source」を選択し「PDF」を選びます。



SDカード内のPDFデータから、取り込みたいファイルを選択します。

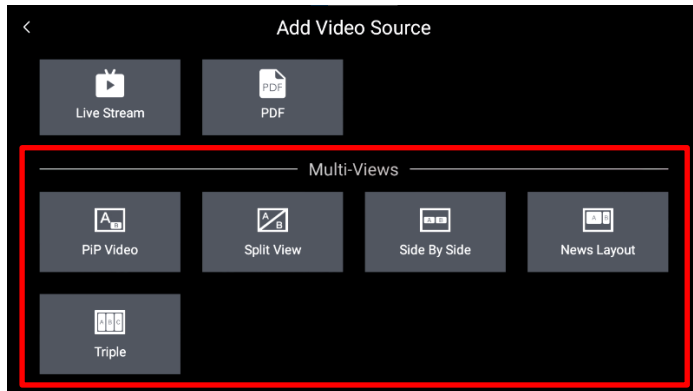


取り込んだPDFデータは映像ソースのひとつとしてプレビュー画面に追加されます。

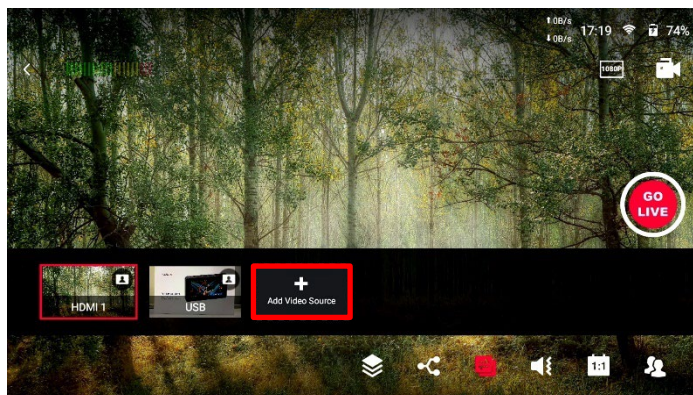
PowerPointの資料をPDFデータに変換した場合は、YoloBox Miniの画面上でページを進めたり戻したりすることができます。

マルチビューの設定

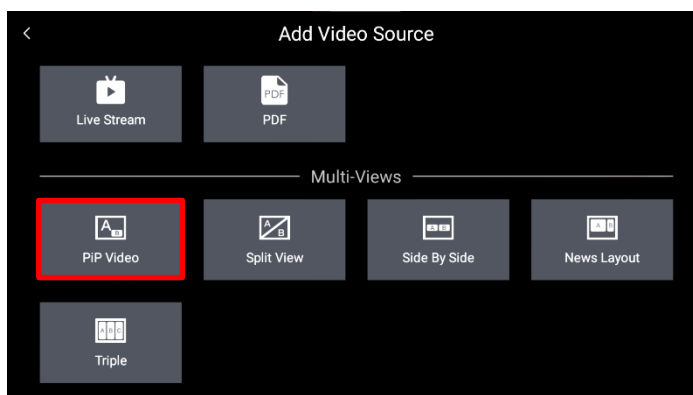
入力した映像にはピクチャーインピクチャーやサイドバイサイドなどのマルチビュー機能を使用することができます。



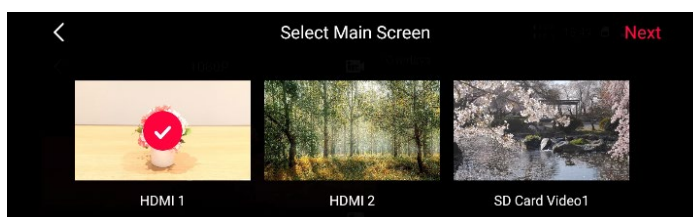
PiP Video(ピクチャーインピクチャー)



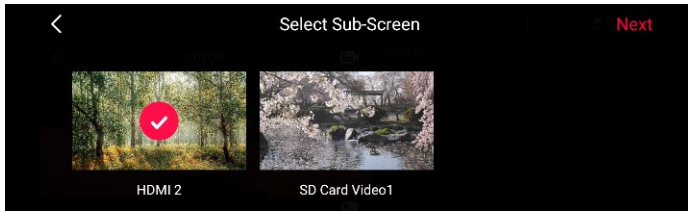
プレビュー画面の「Add Video Source」を選択します。



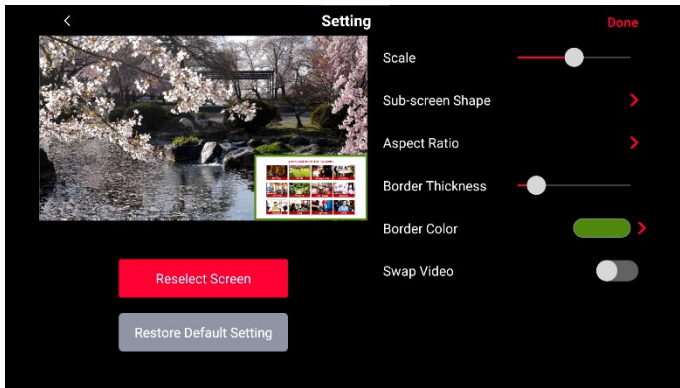
「Multi-Views」の「PiP Video」を選択します。



メインの映像を選択します。

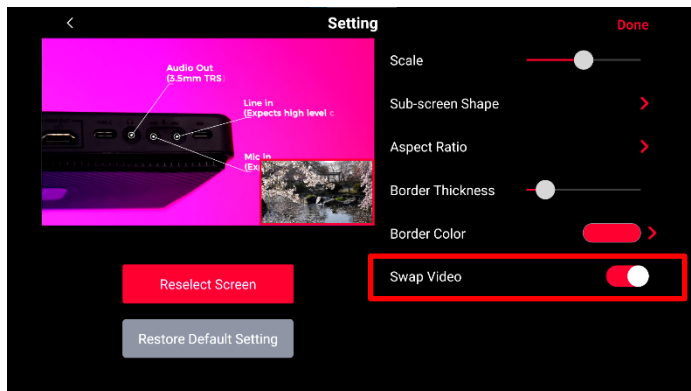


次にサブの映像を選択します。

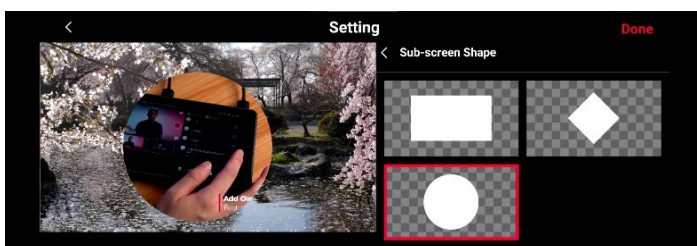


サブの映像は、指でドラッグして位置を移動させたり、スケールバーで大きさの調整やアスペクトの変更も行うことができます。

ボーダー（境界線）の太さや色を選択することもできます。



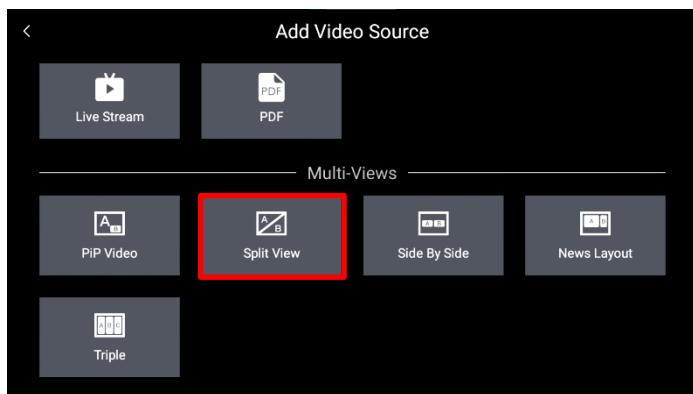
「Swap Video」をタップすると、選択したメインとサブの映像を瞬時に入れ替えることも可能です。



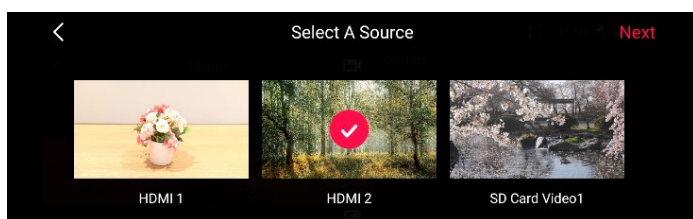
サブ画面の形状は、アスペクト変更以外にも三種類の形状に変更できます。

作成したPiP Videoは映像ソースのひとつとして、プレビュー画面に表示されません。

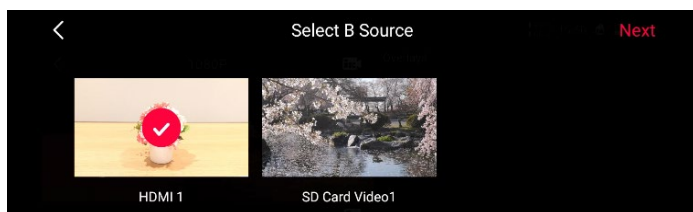
Split View



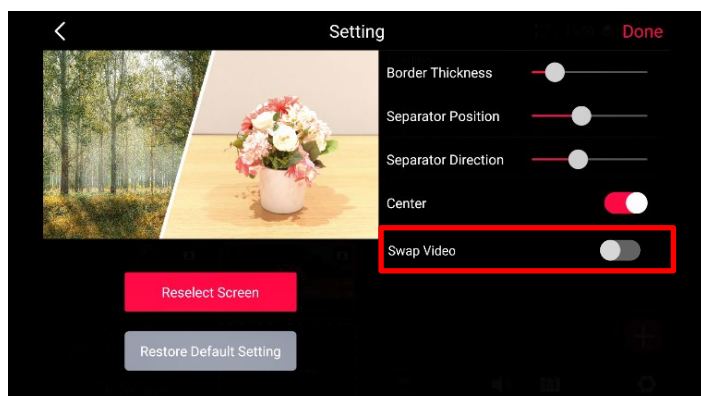
「Multi-Views」の「Split View」を選択します。



Aソースの映像を選択します。



次にBソースの映像を選択します。



区切り線の太さ、区切り位置と角度をそれぞれ調整します。

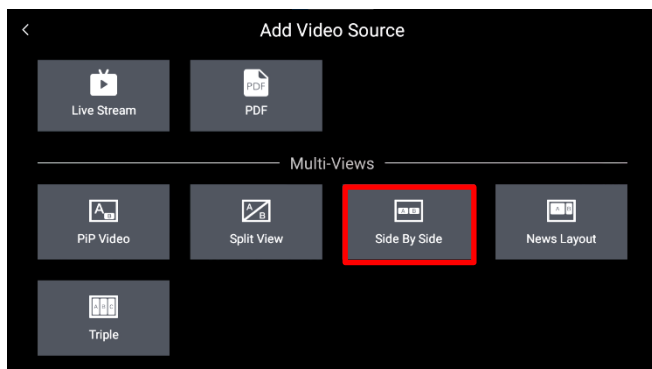
「Center」をオンにすると2つの映像ソースが並んだ状態で、オフにすると重なった状態で分割されます。

Split Viewも「Swap Video」をタップして左右の映像の切り替えが可能です。

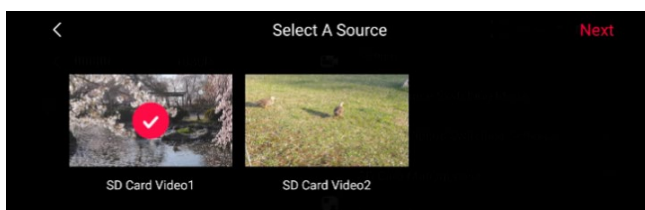
作成したSplit Viewは映像ソースのひとつ

つとして、プレビュー画面に表示されます。

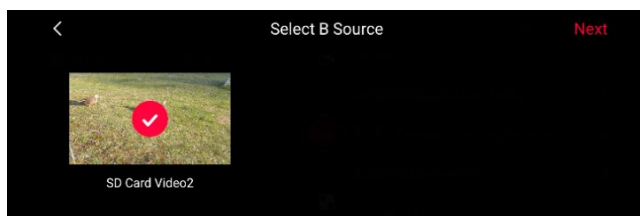
Side By Side



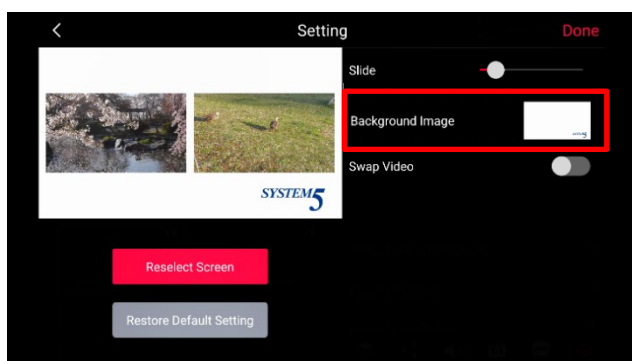
「Multi-Views」の「Side By Side」を選択します。



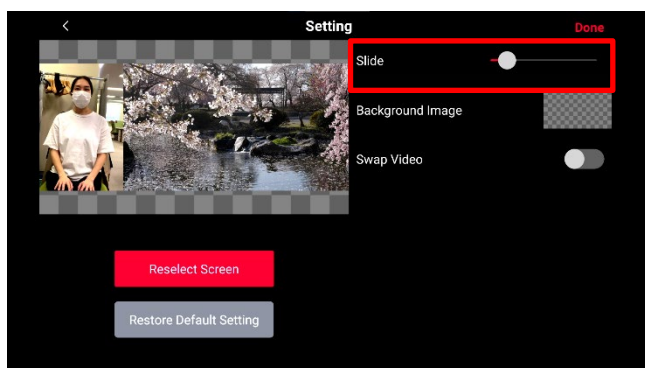
Aソースの映像を選択します。



次にBソースの映像を選択します。

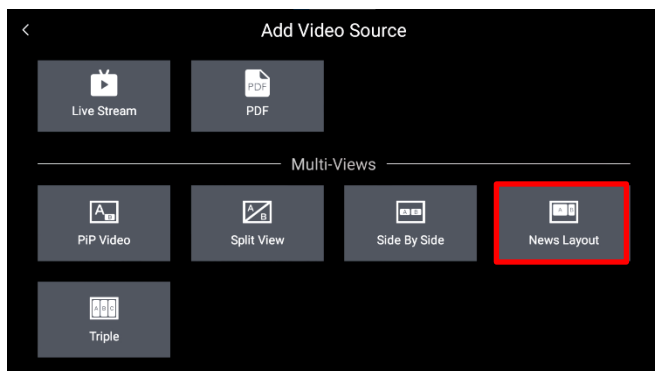


大きさの調整を行ったり、「Background Image」からSDカード内の静止画データを背景として利用することができます。

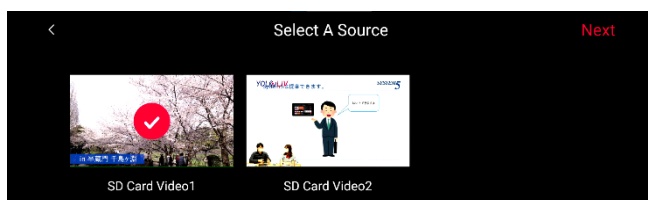


「Slide」バーで映像の大きさを調整することで、プレゼンテーションに最適なレイアウトを作成することができます。
作成したSide By Sideは映像ソースのひとつとして、プレビュー画面に表示されます。

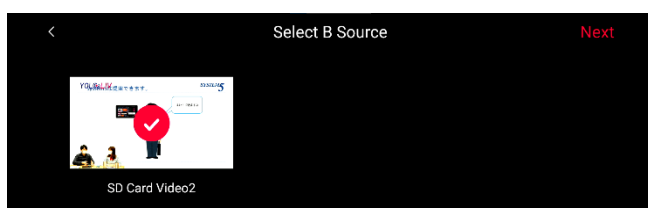
News Layout



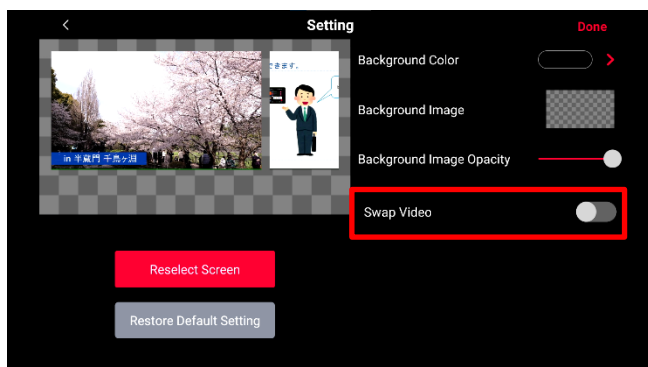
「Multi-Views」の「News Layout」を選択します。



Aソースの映像を選択します。



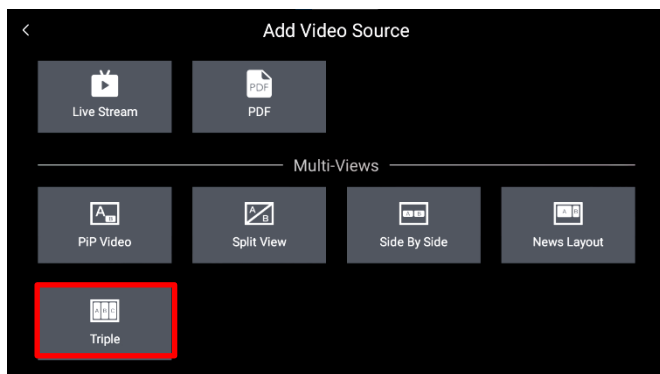
次にBソースの映像を選択します。



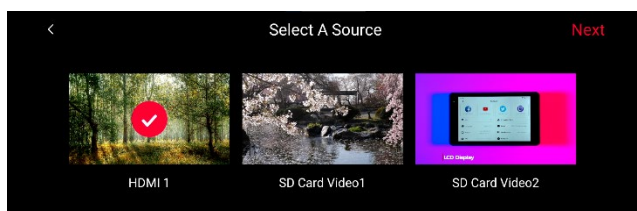
背景色、背景画像、背景画像の透明度などを調整します。

「Swap Video」をタップして、左右の映像の切り替えが可能です。作成したNews Layoutは映像ソースのひとつとして、プレビュー画面に表示されます。

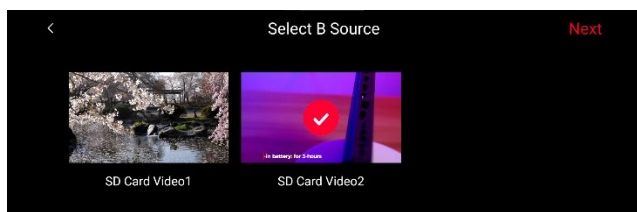
Triple



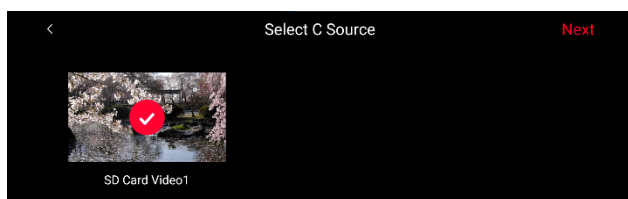
「Multi-Views」の「Triple」を選択します。



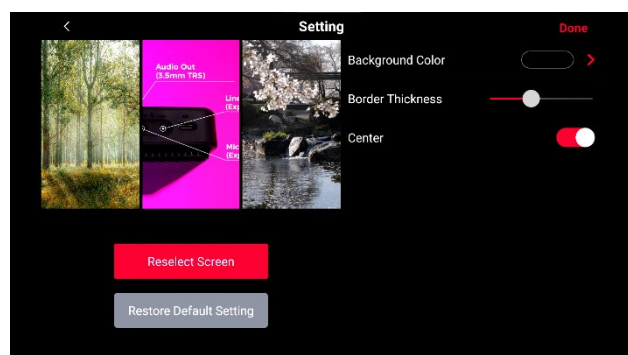
Aソースの映像を選択します。



Bソースの映像を選択します。



Cソースの映像を選択します。



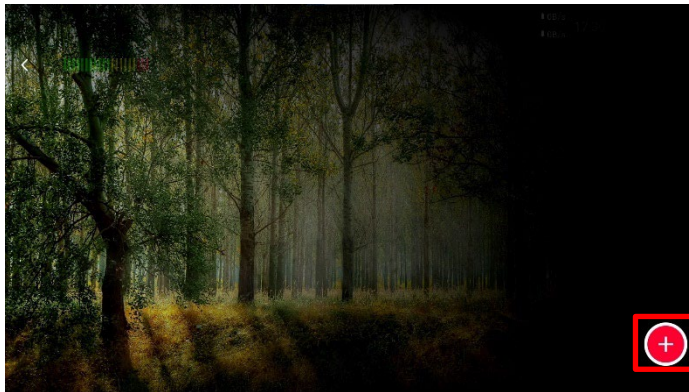
背景色、区切り線の太さ、3つのソースを中央寄せにするか、左、真ん中、右でそれぞれを区切るかを選択します。

作成したTripleは映像ソースのひとつとして、プレビュー画面に表示されます。

各種アイコンと機能の説明

Overlays（オーバーレイ）

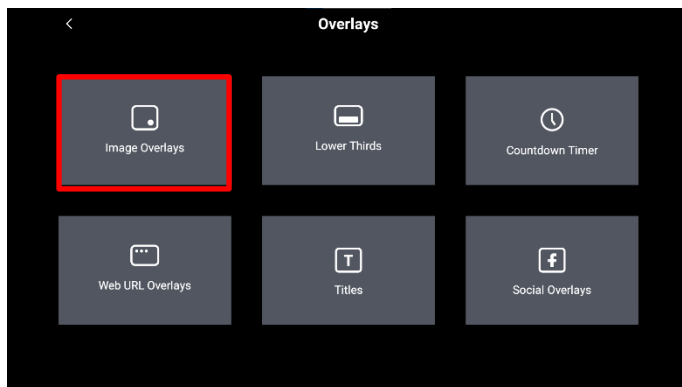
Image Overlays（ロゴの挿入）



画面右下に並んだアイコンから「Overlays」を選択します。



ロゴやタイトルのデータを挿入する場合は、画面左下の「+」ボタンをタップします。



「Image Overlays」を選択します。

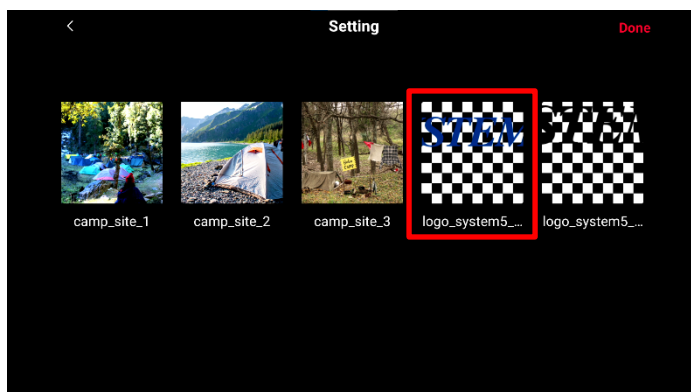
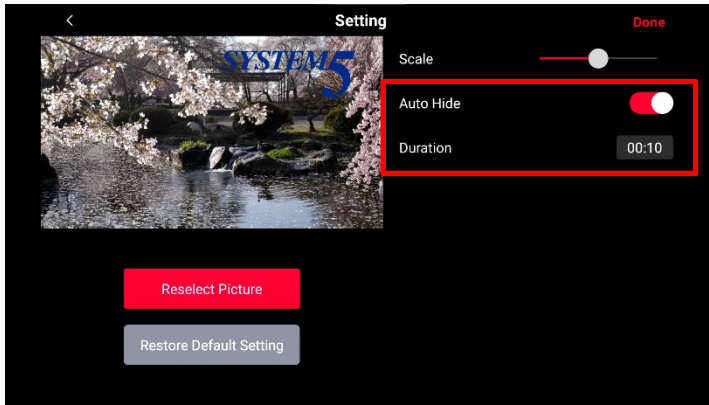


Image OverlaysはSDカードからデータを読み込むことができます。



画面上でドラッグしてロゴを動かして位置を決めたり、スケールバーで大きさを調整することができます。

「オートハイド」をオンにしタイムを設定すると、表示させたオーバーレイは自動で非表示になります。

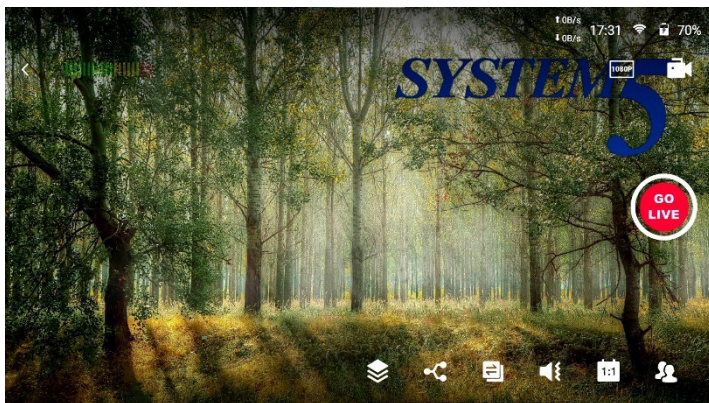


「Overlays」のページに作成したロゴデータが追加されます。

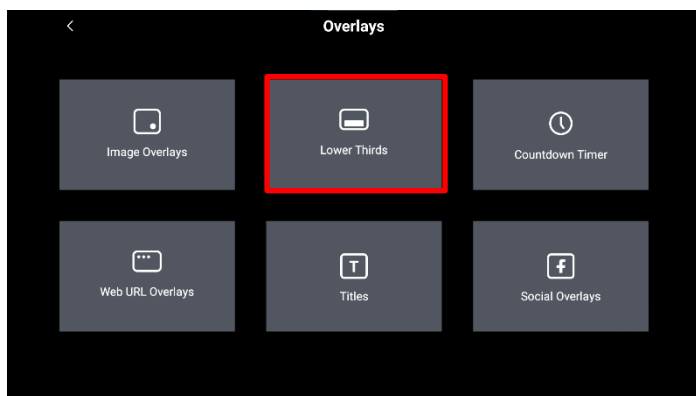
映像にのせたいロゴをタップするとロゴが画面上に表示されます。

再度ロゴをタップすると非表示になります。

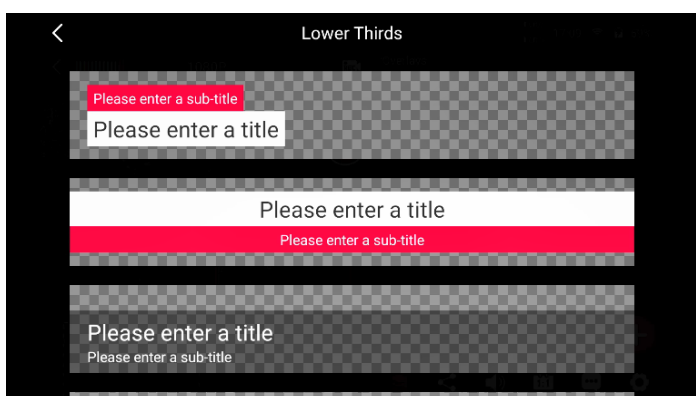
ロゴを長押しすると、削除か再編集を行うことができます。



Lower Thirds (テロップの挿入)

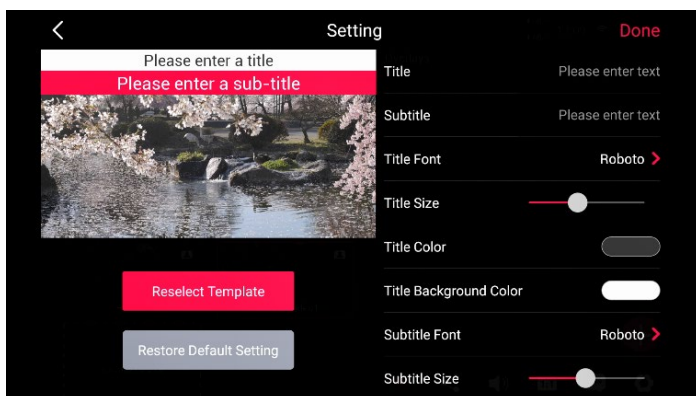


「Lower Thirds」を選択します。



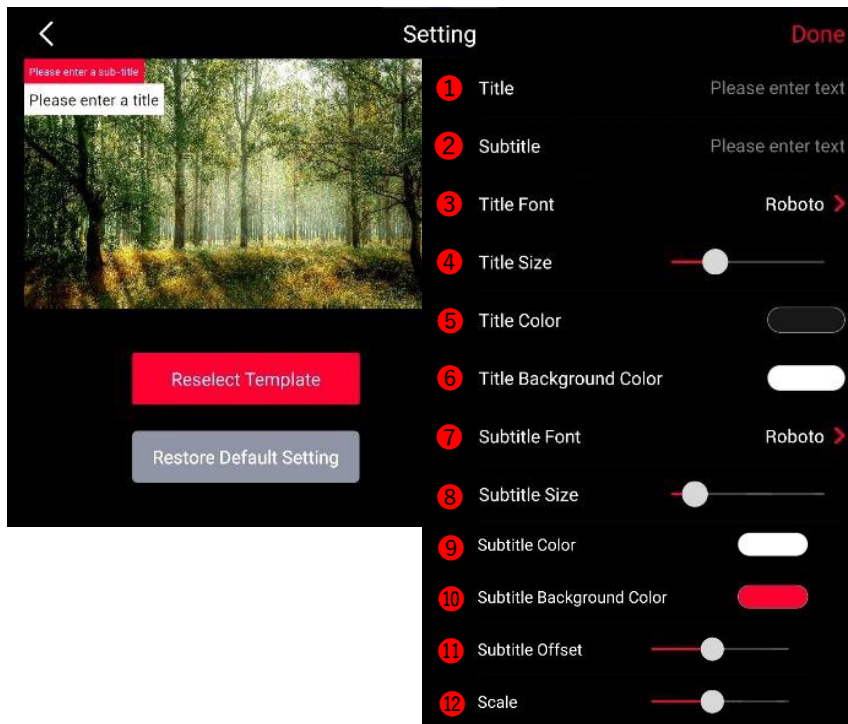
Lower Thirdsは内部のサンプルデータを使用します。

使用したいデザインを選んでタップします。

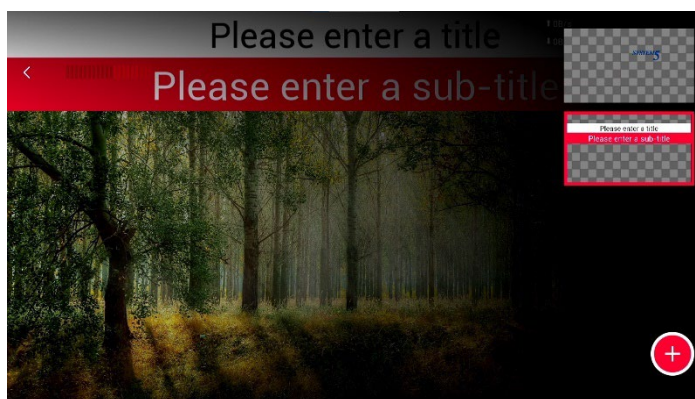


タイトル、サブタイトルを入力したり、フォントや文字色、サイズや帯の色などを設定できます。

画面上でタイトルをドラッグして、任意の位置に調整することができます。



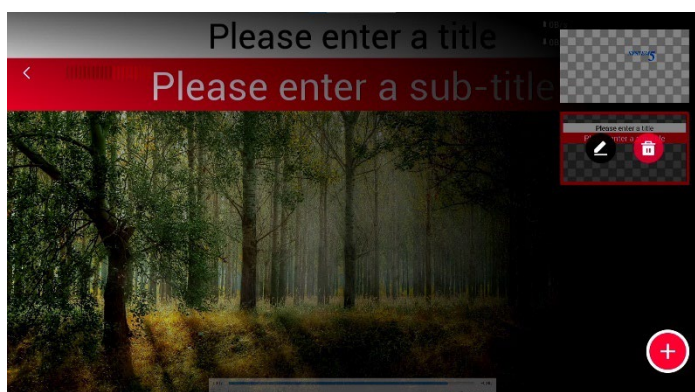
- ①メインタイトル入力 ②サブタイトル入力 ③タイトルフォント ④タイトルサイズ変更
- ⑤タイトル文字色変更 ⑥タイトル背景色変更 ⑦サブタイトルフォント
- ⑧サブタイトルサイズ変更 ⑨サブタイトル文字色変更 ⑩サブタイトル背景色変更
- ⑪サブタイトルオフセット ⑫サイズ変更（同時変更）



「Overlays」のページに作成したタイトルデータが追加されます。

映像にのせたいタイトルをタップするとロゴが画面上に表示されます。

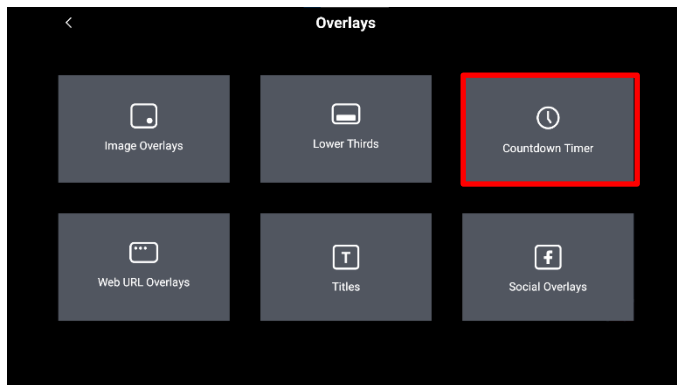
※「Overlays」のページ内のロゴやタイトルは、いくつも重ねることができません。



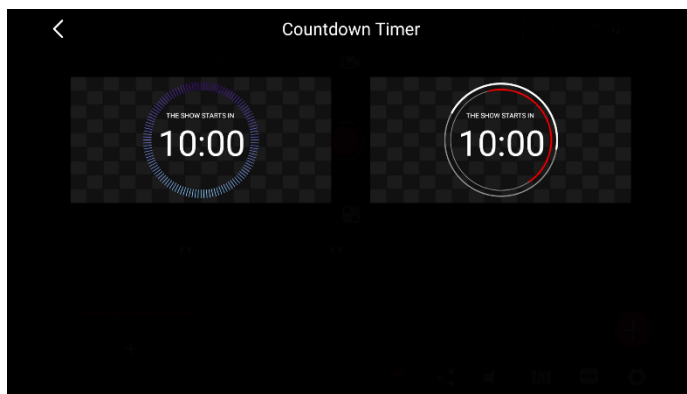
ロゴやタイトルデータは、長押しすると編集もしくは削除を行うことができます。

Lower Thirdsにもオートハイドの機能があり、オートハイドをオンにしてタイムを設定すると、表示させたタイトルは自動で非表示になります。

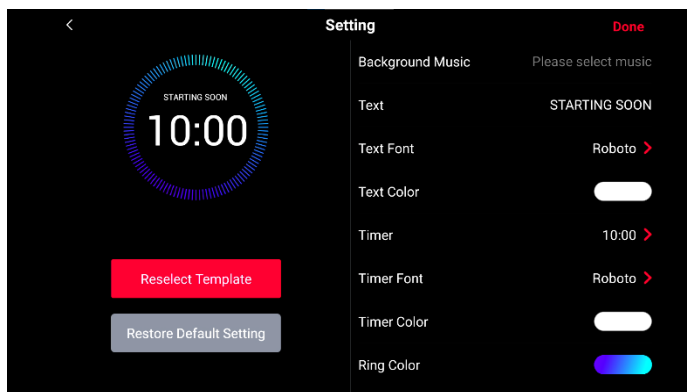
Countdown Timer (カウントダウンタイマー機能)



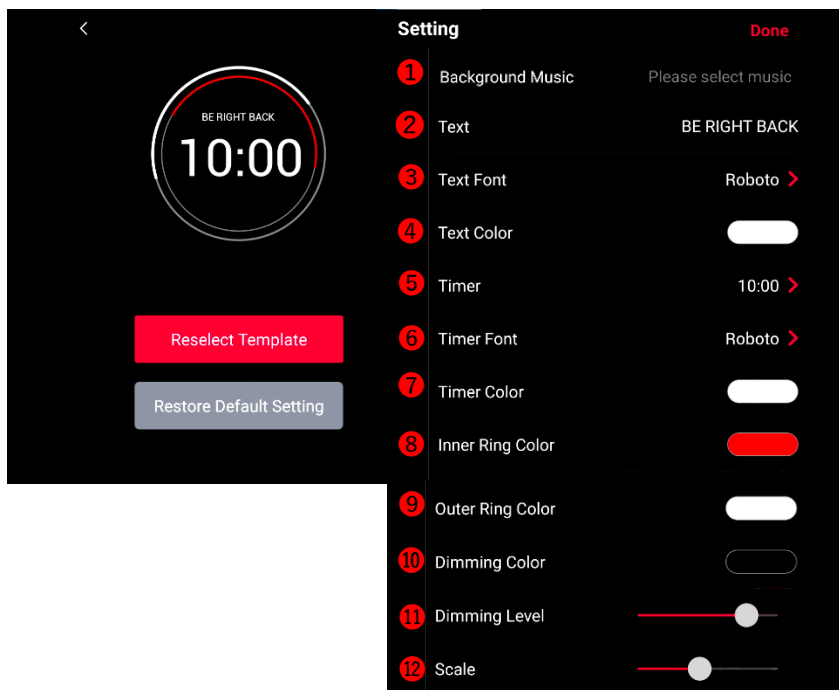
「Countdown Timer」を選択します。



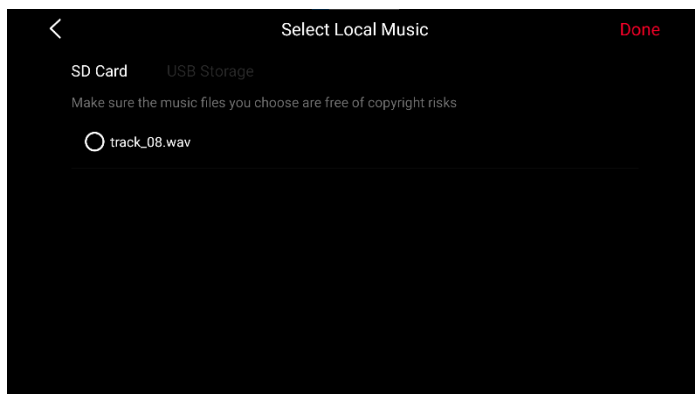
Countdown Timerも内部のサンプルデータを使用します。
使用したいデザインを選んでタップします。



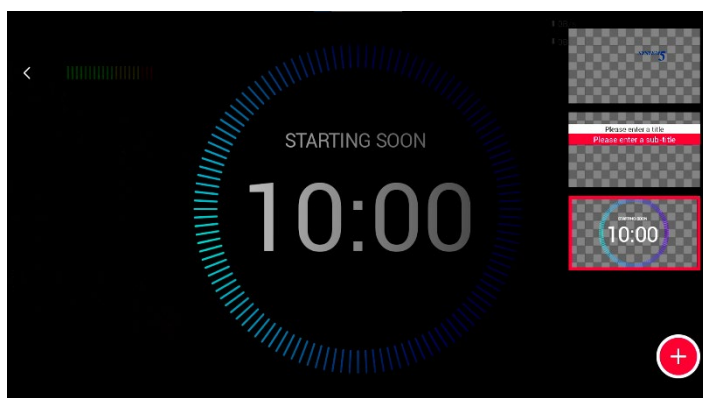
テキストを入力したり、フォントや文字色、サイズやリングの色などを設定できます。



- ①BGM ②テキスト入力 ③テキストフォント ④文字色変更 ⑤タイマー ⑥タイマーフォント
⑦タイマー色 ⑧内側リングカラー ⑨外側リングカラー ⑩調光カラー ⑪調光レベル ⑫サイズ

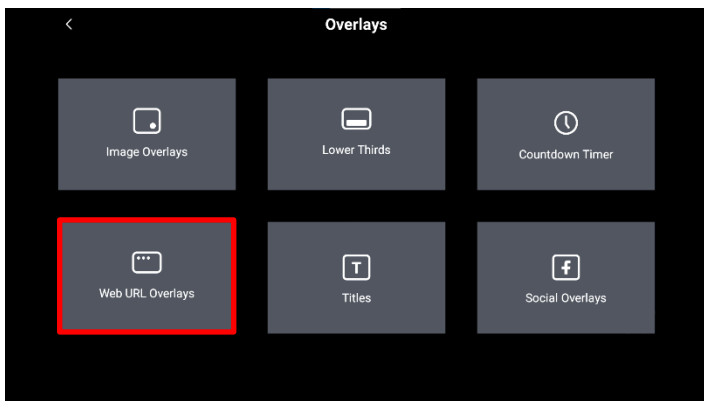


「Background Music」をタップすると、SDカードから音楽データを読み込むことができます。※(MP3、WAV、WMA、Flac、MIDI、RA、APE、AAC、CDA、MOVをサポート(推奨フォーマットはMP3))

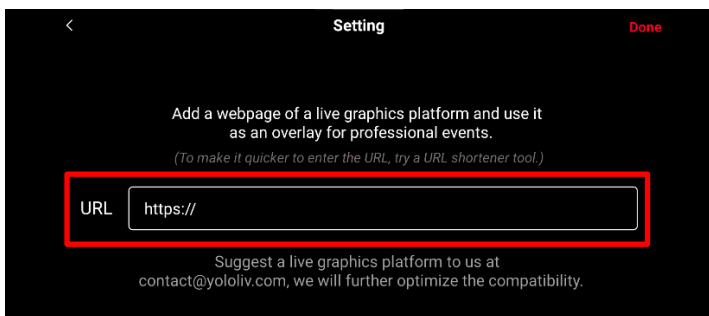


「Overlays」のページに作成したカウントダウンタイマーが追加されます。タップすると画面上に表示され、カウントダウンが始まります。

Web URL Overlays



「Web URL Overlays」を選択します。

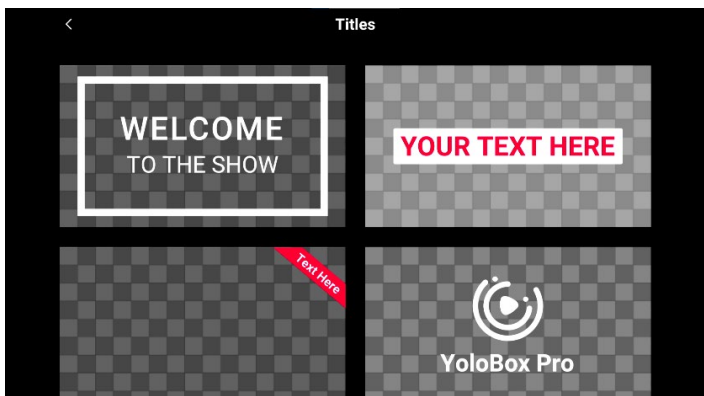


「Web URL Overlays」は外部のスコアボードを表示するために使用します。webサイトを表示させるためのものではありませんのでご注意ください。

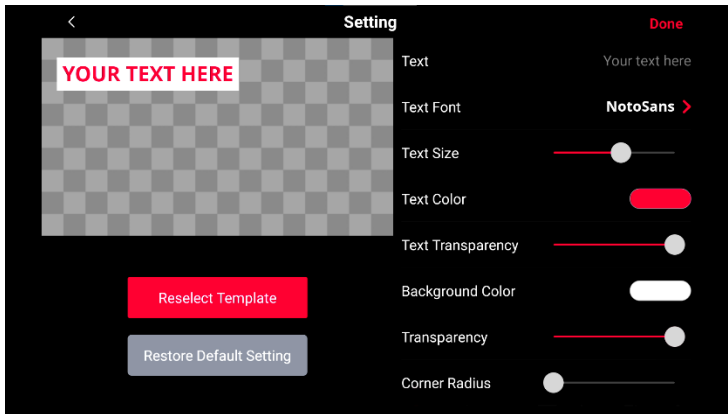
Titles (タイトル)



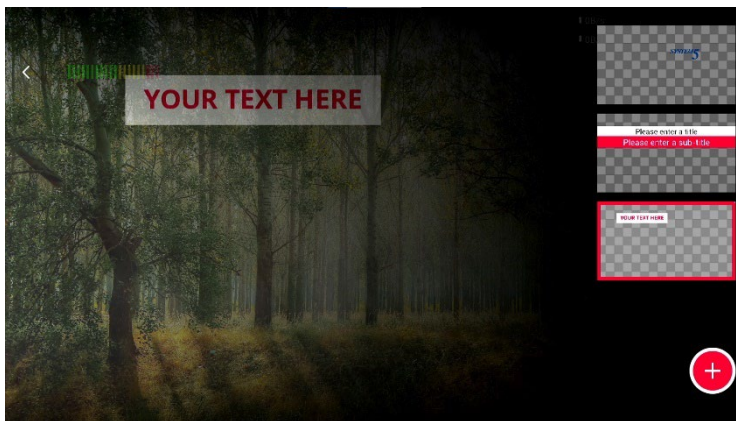
「Titles」を選択します。



サンプルデータから好きなデザインを選択します。



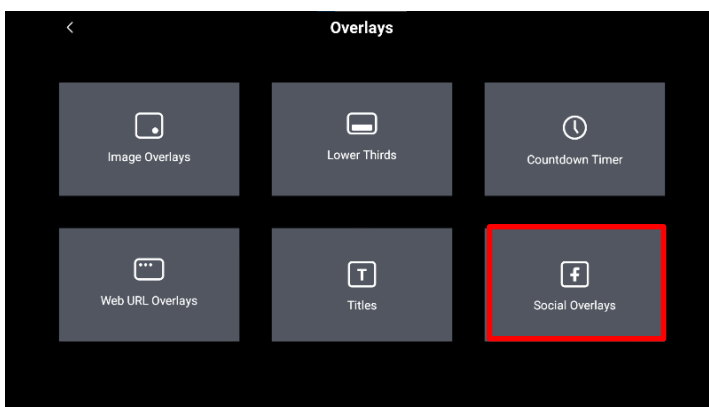
文字色やサイズ、背景色などを設定します。



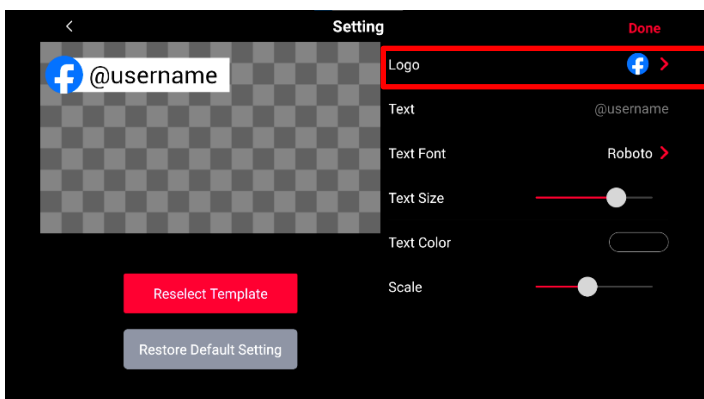
「Overlays」のページに、作成したタイトルが追加されます。

※アップデートにより、Titlesにもオートハイドの機能が実装されました。オートハイドをオンにしてタイムを設定すると、表示させたタイトルは自動で非表示になります。

Social Overlays（ソーシャルメディアロゴの挿入）



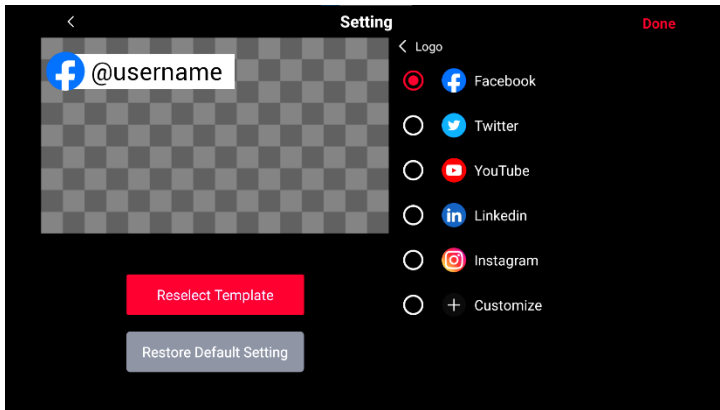
「Social Overlays」を選択します。



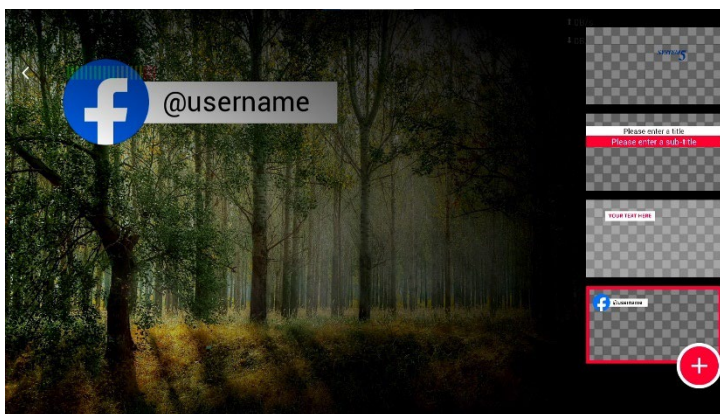
デフォルトはFacebookのロゴになっています。

テキストを入力したり、色やサイズの変更を行います。

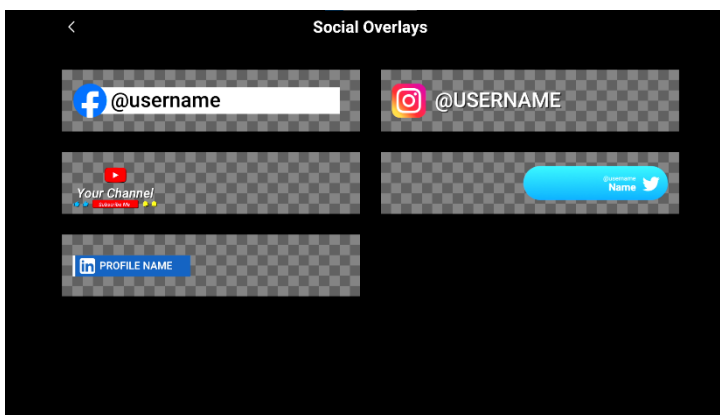
左画面のロゴを動かして位置を調整することもできます。



「Logo」を選択すると、他のSNSのロゴを選ぶことができ、SDカードデータからカスタマイズすることもできます。

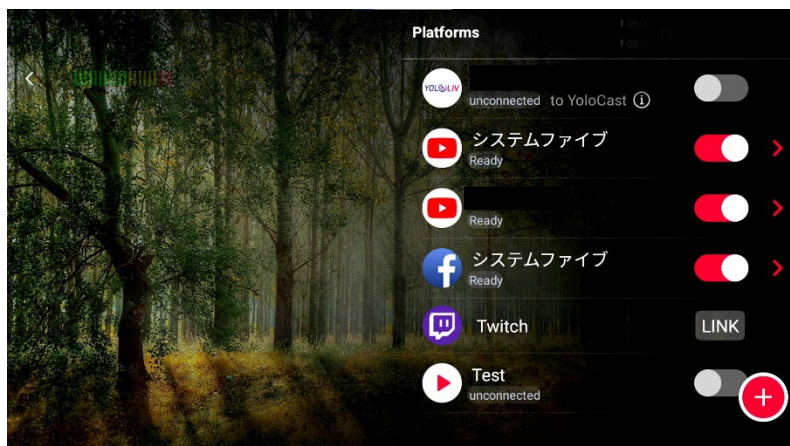


「Overlays」のページに、作成したソーシャルメディアロゴが追加されます。
 ※Social Overlaysにもオートハイドの機能があり、オートハイドをオンにしてタイムを設定すると、表示させたロゴは自動で非表示になります。



Instagram、YouTube、Twitter、LinkedInの4つのソーシャルオーバーレイがオプションリストに追加されました。

配信プラットフォームの選択



画面右下に並んだアイコンから「Platforms」を選択します。

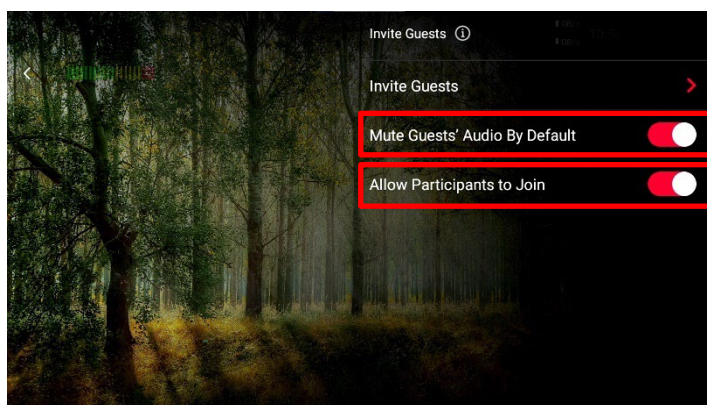
配信するプラットフォームにチェックを入れ、トップ画面右側の「GO LIVE」をタップすると配信が開始されます。

詳しくはP20の「配信3ステップ」をご覧ください。

ゲストの招待

ゲストの招待とは、YoloBox Miniから直接招待メールを送ることで、スマートフォンやパソコンを利用して最大5名までゲストとして配信に参加できる機能です。

※配信に参加するゲストの映像は映像入力の1つとして、グリーンバックやオーバーレイの追加、マルチビューの映像ソースとしての利用が可能です。

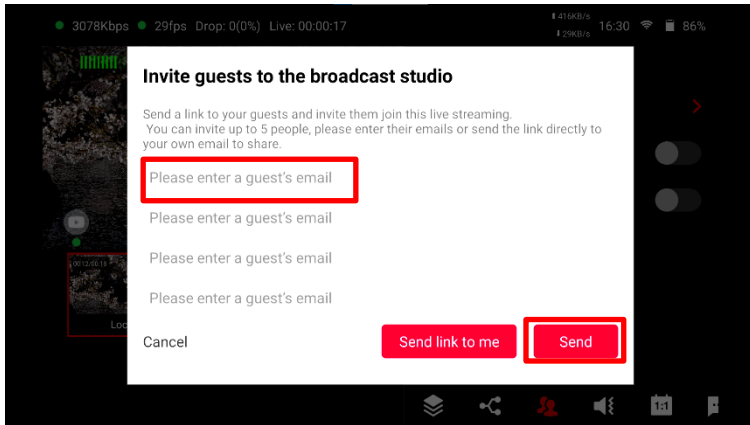


画面右下に並んだアイコンから「Invite Guests」を選択します。

「Allow Participants to join」をオンにした状態で「Invite Guests」をタップします。

※「Allow Participants to join」がオンの状態でないとゲストは参加できません。

※「Mute Guests' Audio By Default」をオンにしていると、ゲストの音声をYoloBox Mini側でコントロールできます。



「Invite Guests」をタップし、ゲストのメールアドレスを入力し送信を行います。



Hi there,

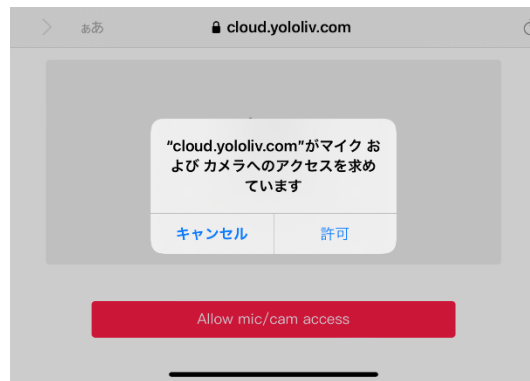
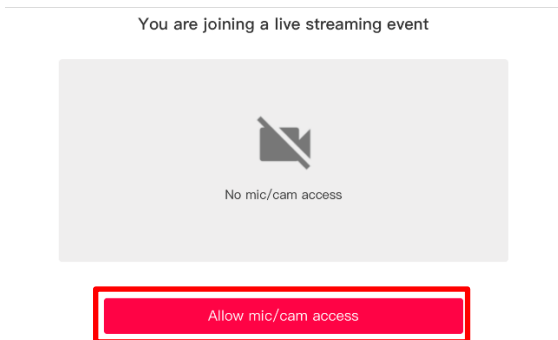
... has invited you to join the live stream "test" on YoloBox.



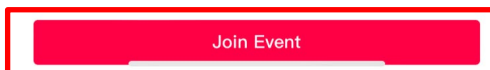
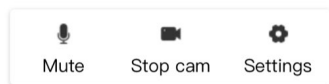
YoloBox by YoloLiv is an all-in-one multi-cam live streaming studio.

先ほど送ったメールアドレス宛に、このようなメールが届きます。

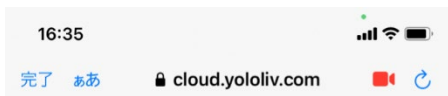
「Accept Invite」をクリックします。



デバイスのマイクとカメラのアクセスを許可します。



カメラとマイクのアクセスを許可したら、「Join Event」を選択します。



YOLOLIV

English

iPhoneの場合、ゲスト側ではこのように①メインのライブ配信と、②自分のカメラ映像を確認することができます。

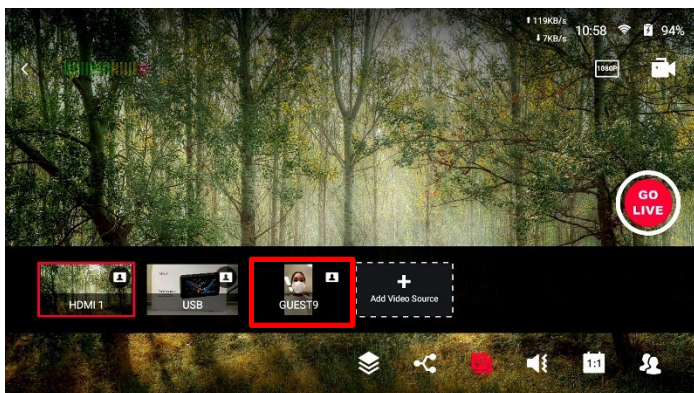
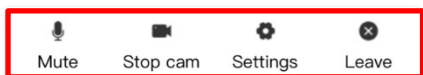
①



ライブ配信の音声も確認できます。

音声のミュートやカメラの停止は下のアイコンをタップして行います。

②



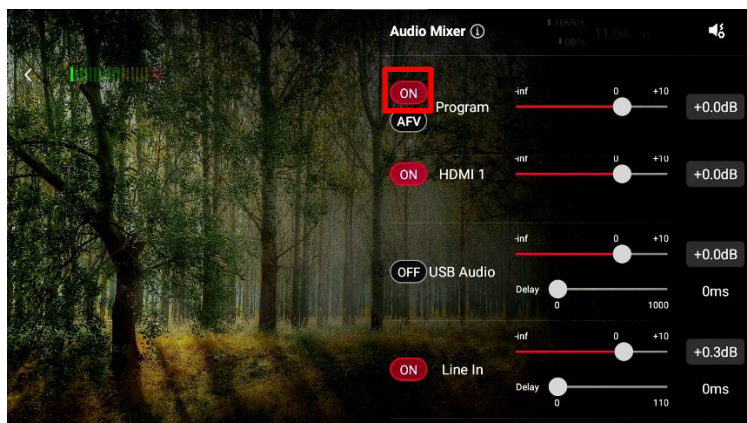
参加したゲストの映像は、映像ソースの1つとしてプレビュー画面に表示されます。

ゲストの音声はYoloBox Miniの音声設定でオン/オフやボリュームなどの調整が可能です。

⚠️ ゲスト招待時の注意事項

- Web URLオーバーレイ、GIF画像、カウントダウンタイマーなどのアニメーショングラフィックは、ゲスト招待機能使用時には推奨されません。
- 招待リンクは、PCまたはスマートフォンでのみ使用可能。現在iPadでの使用はできません。

音声設定



画面右下に並んだアイコンから「Audio Mixer」を選択します。

音声入力のあるチャンネルは、それぞれのフェーダーで音量の調整を行います。

Mic In、Line In、USB-C、SD cardのチャンネルは、ディレイをかけることができます。

Program

全体の音量、ヘッドフォンアウトの音量を調節します。

「AFV」をオンにする

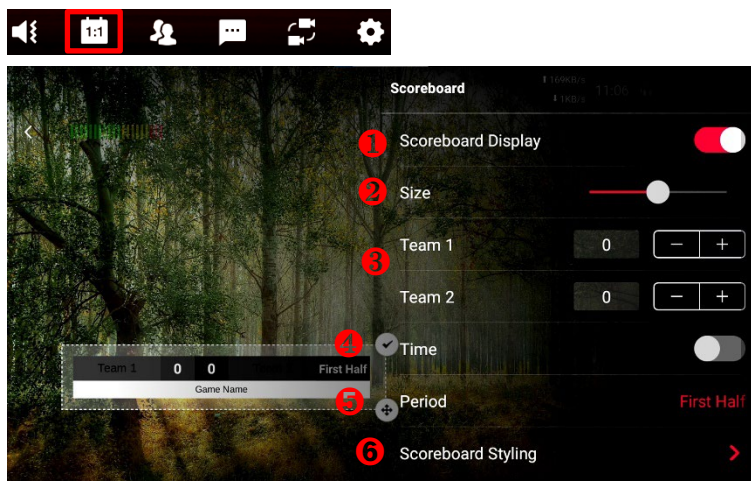
スイッチングで選択されている映像チャンネルの音が出力されます。ラインイン/マイクインの音声のみミックス可能です。

「AFV」をオフにする

HDMI2つ、ラインイン/マイクイン、SDカード2つから選択された最大3チャンネルまでをミックスします。各チャンネルの音量は、フェーダーで調整できます。

スコアボード

面右下に並んだアイコンから「Scoreboard」を選択します。



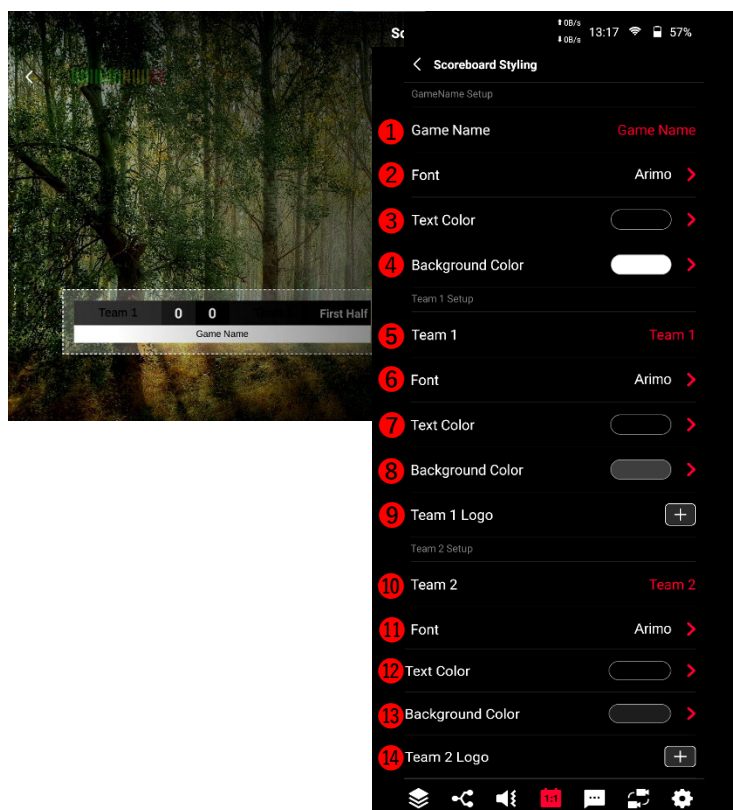
① 「Scoreboard Display」をオンにし、スコアボードの色やサイズ、フォント、位置などを設定します。

スコアボード右上のチェックをタップすると配信画面にスコアボードが表示されます。

④ 「Time」は試合時間を表示することができ、カウントダウン、カウントアップどちらにも対応しています。

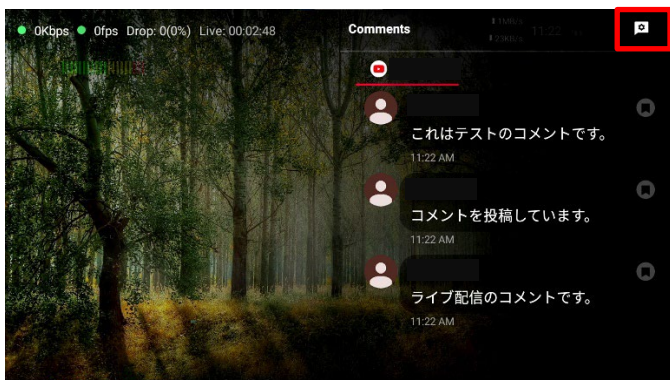
- ①スコアボード表示 ②サイズ ③得点(チーム1、チーム2) ④タイム表示(カウントアップ、カウントダウン対応) ⑤ピリオド ⑥スコアボード設定

※ 「Scoreboard Styling」を選択すると、詳細な設定を行えます。



- ①ゲームネーム
- ②フォント
- ③文字色
- ④背景色
- ⑤チーム名 (チーム1)
- ⑥フォント
- ⑦文字色
- ⑧背景色
- ⑨チームロゴ
- ⑩チーム名 (チーム2)
- ⑪フォント
- ⑫文字色
- ⑬背景色
- ⑭チームロゴ

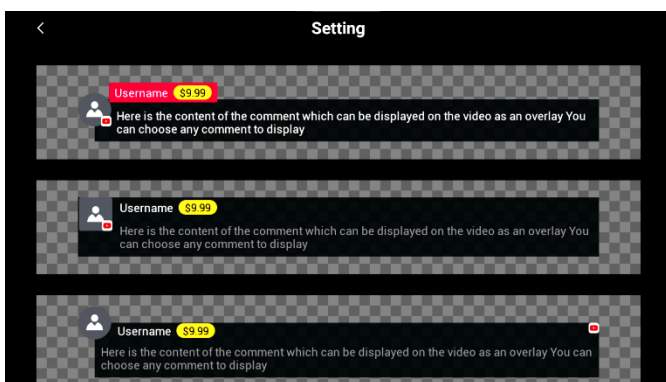
コメント



画面右下に並んだアイコンから「Comments」を選択します。

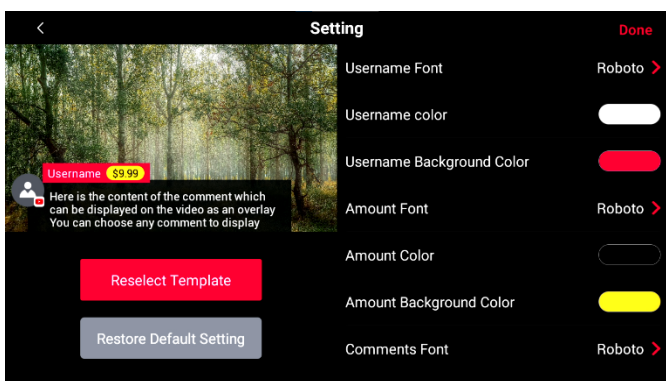


ライブ配信中の視聴者からのコメントがリアルタイムで確認できます。※現在はYouTubeとFacebookのみ対応しておりますが、プライベート配信の場合にコメントは使用できません。コメントは最新の100個まで表示でき、画面をスクロールし確認することができます。



前画面の右上の歯車マークをタップすると、配信画面にコメントをのせるための設定を行うことができます。

サンプルデータからコメント表示のデザインを選択します。



フォントや文字色、大きさを設定できるほか、画面上でコメントを指でドラッグして表示位置を調整することができます。



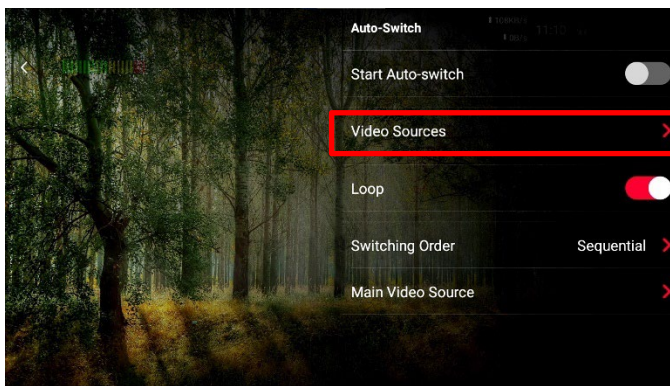
コメントの一覧から、表示させたいコメントの右側のマークをタップすると配信画面に表示されます。

他のコメントを表示したい場合は、次のコメントのマークをタップすると、コメントが切り替わります。

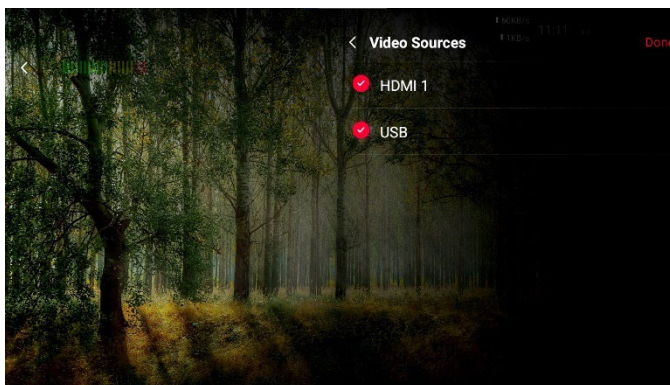


コメントはこのように表示されます。

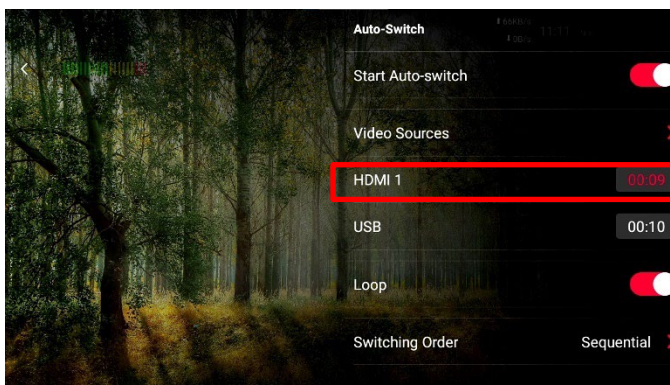
オートスイッチング（自動切換え）



画面右下に並んだアイコンから「Auto-Switch」を選択します。

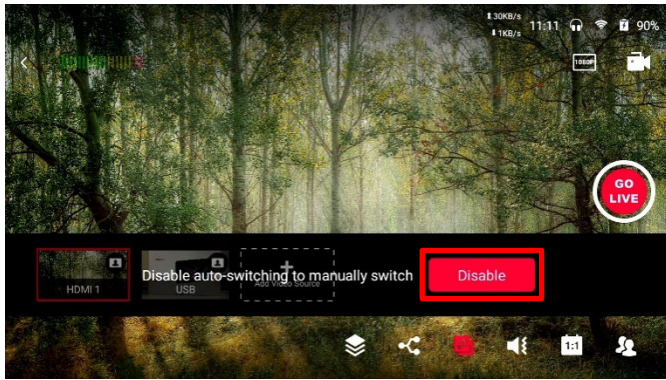


前画面の「Video Sources」をタップし、オートスイッチングを行う映像ソースを選択します。



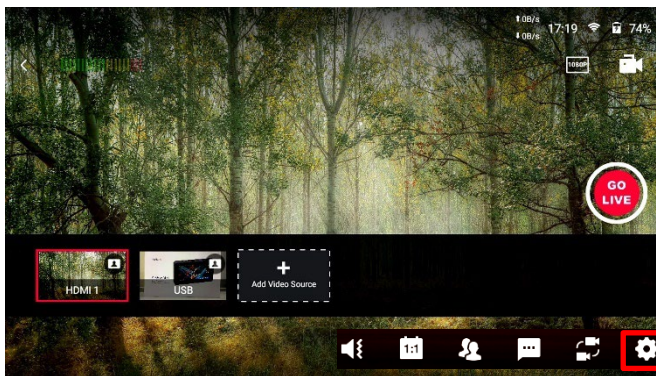
選択した映像を流すインターバルを設定します。

ループで切り替えを続ける、スイッチングの順番をランダムにするかなどの設定を行います。



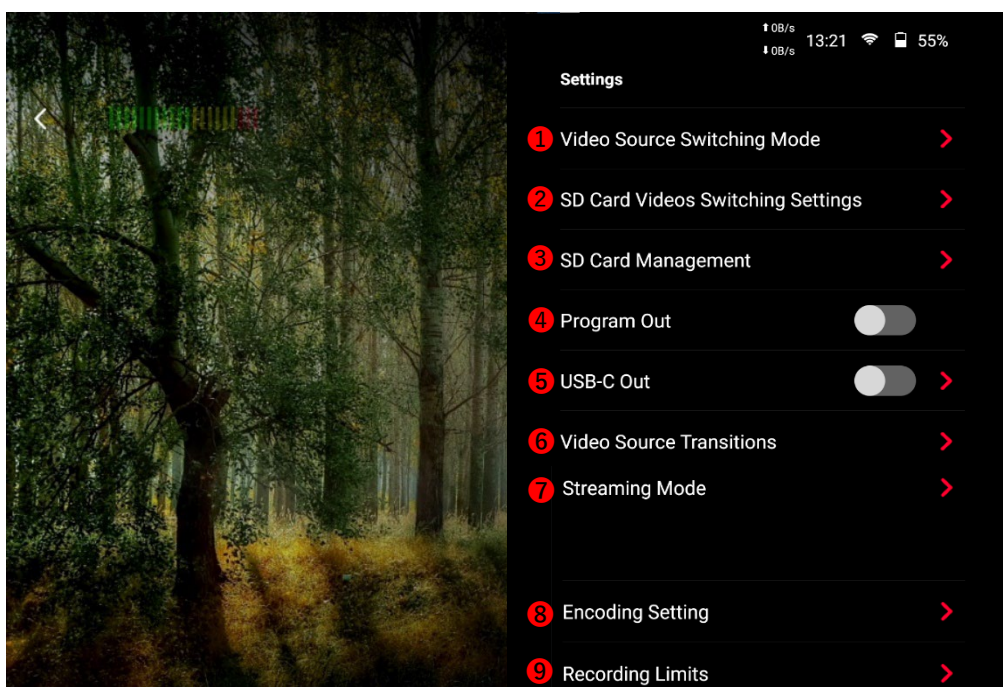
プレビュー画面上の「Disable」をタップすると自動切り替えが止まります。

各種設定ページ



画面右下に並んだアイコンから「Settings」を選択します。

各種設定ページでは、YoloBox Miniの各種設定を行います。

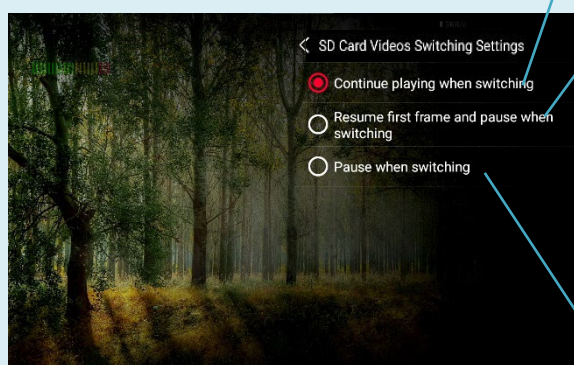


①Video Source Switching Mode（映像ソーススイッチングモード）

→映像切り替え時のモードを変更します。

1タップでの切り替えもしくは2タップでの切り替えを選択できます。

②SD Card Videos Swiching Settings（SDカード映像スイッチング設定）



Continue playing when switching

映像のスイッチングを行っても、SDカードから取り込んだ映像は流れ続けます。

Resume first frame and pause when switching

映像のスイッチングを行うと、SDカードから取り込んだ映像は最初に戻り停止状態となります。再度SDカードの映像に切り替えると動画は再生され始めます。

Pause when switching

映像のスイッチングを行うと、SDカードから取り込んだ映像は切り替えを行った時点で一時停止します。再度SDカードの映像に切り替えると動画は一時停止したところから再生されます。

③SD Card Management（SDカード管理）

→SDカードの容量の確認やファイルの削除を行います。

※SDカードが認識されない場合は、一度FAT32形式でフォーマットを行ってください。

④Program Out（プログラムアウト）

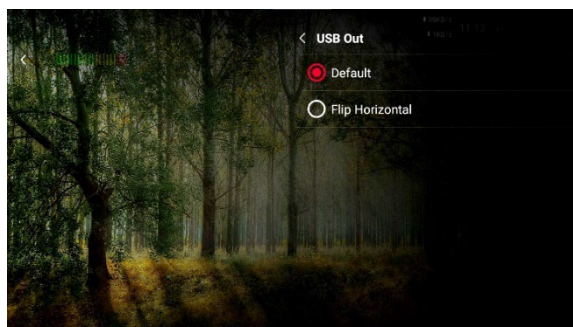
→プログラムアウトがオンの場合映像出力はスイッチングアウト、オフの場合は操作画面がスルーアウトされます。

⑤USB-C Out (USB-Cアウト)

→オンにするとUSB-Aインプットを映像アウトプットとして使用することができます。

ZoomやSkypeなどをお使いの際にオンにして接続してください。

画面を左右反転することもできます。



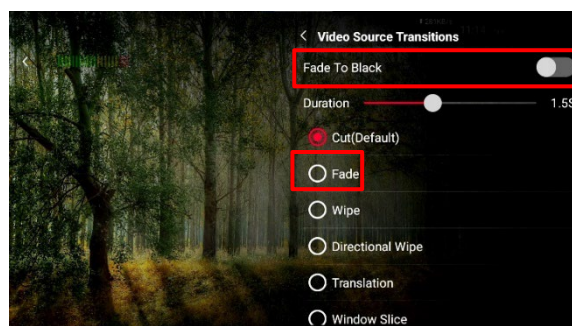
⑥Video Source Transition

(映像ソースランジション)

→映像切り替え時のエフェクトを選択します。

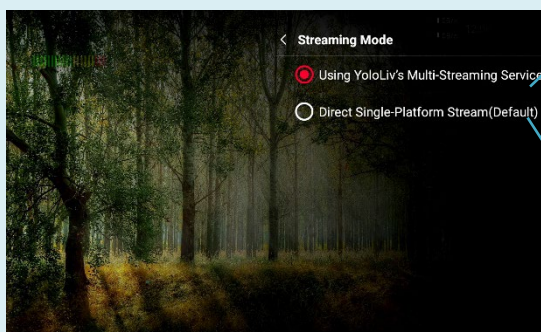
「Duration」の値でランジションの速度を調整できます。

速度は0.5～3秒まで、0.5秒ごとに設定可能です。



「Fade to Black」をオンにすると、画面はブラック状態になり、映像も音も非表示になります。「Fade to Black」をオフにするかプレビュー画面の映像ソースをタップすると映像と音は表示されるようになります。

⑦Streaming Mode (ストリーミングモード)



Using YoloLiv's Multi-Streaming Service

1つ以上のプラットフォームで同時配信する際に選択します。

Direct Single-Platform Streaming(Default)

1つのプラットフォームのみで配信する際に選択します。

⑧ Encording Setting (エンコーディング設定)



The screenshot shows the 'Encording Setting' menu with three options: CBR (Defaulted & Recommended), CQ, and VBR. Below these are sliders for Bitrate (set to 3000Kbps) and FPS (set to 60.0fps). A note at the bottom of the menu reads: 'Please select the best rate control according to your internet conditions, scene complexity and other specific needs.'

CBR(Constant Bitrate)
 動画の内容にかかわらず、常に一定のビットレートでエンコードを行う方法。メーカー推奨は5000Kbpsの設定です。

CQ(Constant Quality)
 データの品質レベルを保つためにビットレートを変動させる方法。最適な圧縮率を確保しつつ、各フレームには必要な映像品質を実現するのに十分なビットレートが割り当てられます。

VBR(Variable Bitrate)
 動画の内容によってビットレートを変動させる方法。動きの激しい映像はビットレートを高く、動きが少ない映像は低く、効率よくビットレートを配分できます。

ビットレートは2000Kbps～8000Kbpsの間で任意で設定できます。

固定されたフレームレートでの配信、収録を行うには、フレームレートを選択してください。
 (20/24/25/29.97/30/48/59.94/60 fps に対応)

※ビットレートは、インターネット環境やシーン、特定のニーズによって一番適したものをお選びください。

YoloBox Mini エンコード設定

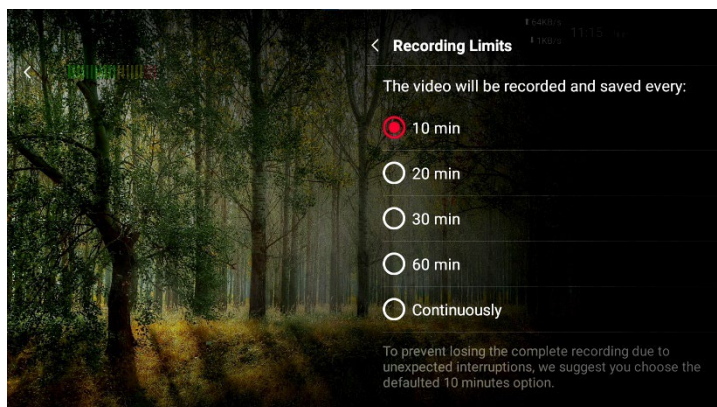
	上り回線速度	解像度	エンコードモード	ビットレート	FPS
SIM	1mbps以下	420	CBR	750~1000Kbps	24~30
	1~5mbps	720	CBR or CQ	1000~2000Kbps	24~30
	5~10mbps	720 or 1080	CBR or CQ	2000~4000Kbps	24~30
	15~20mbps	1080	CBR or CQ	2000~6000Kbps	30
有線	20~50mbps	1080	CBR	6000~8000Kbps	30
	50~100mbps	1080	CBR or CQ	8000Kbps	60

推奨するエンコード設定表です。配信の際にはぜひご参考にしてください。

⑨Recording Limits (収録設定)

→SDカードへの収録時に分割して記録されるファイルの時間を選択することができます。

※予期せぬ中断によるデータ消失を防ぐために、デフォルトの最短10 min(10分)の設定での収録を推奨します。



スペック

インターフェイス	HDMI入力 ×1 / USB-A2.0ビデオ入力 ×1(※) / HDMI出力×1 / Ethernet ×1 / ライン入力(3.5mm) ×1 マイク入力(3.5mm) ×1 / オーディオ出力(3.5mm) ×1 / USB-C(充電用) ×1 / 1/4インチネジ穴 ×1 nanoSIMカードスロット×1 / SDカードスロット×1 ※ストレージの読み込みおよびオーディオ入力は2022年末までにアップデートにて対応予定です。 ※一部のUSBウェブカメラではビデオのみキャプチャ可能です。
定格出力	5V 1.5A
定格電圧	5V:2.5A、9V:2A、12V:1.5A
消費電力	10W以下
動作環境条件	温度：0°C～40°C 湿度：15%～85%（結露無きこと）
バッテリー容量	リポバッテリー：4700mAh 連続駆動時間：約3時間（ライブ配信中）※当社調べ
質量	320 g
寸法	(L×W×H)：155×92.6×20mm
ライブ配信解像度	480p / 720p / 1080p
オーディオインプットフォーマット	16bit 16kHz / 32kHz / 44.1kHz / 48kHz
ビデオエンコードフォーマット	H.264
オーディオエンコードフォーマット	(AAC)44.1kHz 2ch 16bit ミキサーやラベリアマイクなど、モノラルTRSの3.5mmオーディオ入力に対応しています。
Wi-Fi	2.4GHz / 5GHz
4G ネットワーク	日本国内対応 米国、カナダ、メキシコ以外のユーザー：[EM：欧州・中東・アフリカに向けたバリエーション/インド/ 韓国/台湾/南アジア地域/中南米/オーストラリア/ニュージーランド) B1/B2/B3/B4/B5/B7/B8/B20/B28/B38/B39/B40/B41
SIMカードサイズ	nanoSIMカード対応 ※SMS/音声通話対応のデータプランのSIMカードに対応しています。データプランのみのSIMカードはご利用できない場合があります。
SDカードフォーマット	FAT32（1TB以下） / NTFS / exFAT ※スピードクラス10以上推奨
付属品	本体 / YoloBox Mini ユーザーマニュアル / スクリーン保護用ガラスフィルム / SIMカード取り出し用ピン コールドシューマウント / 六角レンチ / USB電源ケーブル（Type A - Type C）
製品保証	1年間（製品故障のみ）